

武蔵村山市  
第三次みどりの基本計画策定  
アンケート調査  
報告書

令和4年3月

# 目 次

1 アンケート調査の概要 .....	1
1-1 調査の目的.....	1
1-2 調査対象.....	1
1-3 調査手法.....	1
1-4 調査実施日 .....	1
1-5 回収率.....	1
1-6 評価等について.....	2
2 アンケート結果の概要.....	3
2-1 武蔵村山市の「みどり」について.....	3
2-2 「みどり」とのかかわりについて .....	3
2-3 「農」とのかかわりについて.....	4
2-4 「公園」とのかかわりについて .....	4
2-5 狭山丘陵について.....	5
2-6 街路樹について .....	5
2-7 「みどり」に関する市の取組について.....	5
3 アンケート調査結果.....	6
3-1 ご自身のことについて.....	6
3-2 武蔵村山市の「みどり」について .....	10
3-3 「みどり」とのかかわりについて.....	15
3-4 「農」とのかかわりについて.....	17
3-5 「公園」とのかかわりについて .....	19
3-6 狭山丘陵、街路樹について .....	26
3-7 「みどり」に関する市の取組について.....	29
3-8 自由意見 .....	32
4 結果の分析(クロス集計) .....	36
4-1 武蔵村山市の「みどり」について.....	36
4-2 「農」とのかかわりについて.....	40
4-3 「公園」とのかかわりについて .....	41
参考資料 アンケート調査票 .....	47

# 1 アンケート調査の概要

## 1-1 調査の目的

武蔵村山市第三次みどりの基本計画策定にあたり、みどりに関する市民意識を把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

## 1-2 調査対象

20歳以上の市民2,000名

## 1-3 調査手法

郵送による調査を実施しました。また、QRコードによるWEB回答ページも作成し、回答者は紙による回答、WEBによる回答どちらか好きなほうを選択できるようにすることで、回収率向上に努めました。

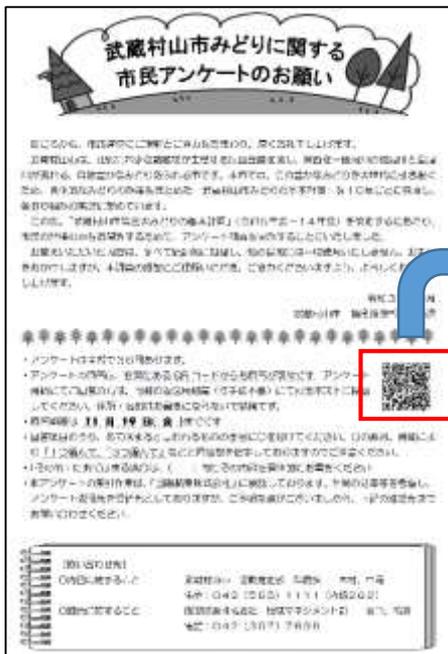


図 依頼文の内容



図 WEBの回答ページ

## 1-4 調査実施日

令和3年10月20日～令和3年11月19日

## 1-5 回収率

回答数:572 件(紙の回答:491 件、WEBの回答:81 件)

回収率:28.6%

## 1-6 評価等について

### (1) 年代別分析

年代別評価は全ての設問に対してではなく、傾向の違いが予想される設問や年代別傾向を知ることによって施策に影響すると思われる以下の設問について分析しました。

問 9:みどりの量と質について

問22:公園の利用頻度について

問23:公園を利用しない理由について

問26:新規公園に対するニーズについて

問29:公園・緑地等のボランティア活動実績について

### (2) 地区別分析

地区別評価は全ての設問に対してではなく、傾向の違いが予想される設問や地区別傾向を知ることによって施策に影響すると思われる以下の設問について分析しました。

問 9:みどりの量と質について

問10:武蔵村山市のみどりの満足度について

問13:身近なみどりの満足度について

問22:公園の利用頻度について

問23:公園を利用しない理由について

### (3) 自由意見

アンケート最終項目の自由意見は意見の要約を行ったうえ、類似項目について分類し、その項目件数の多いものの一部を掲載しました。

### (4) その他

グラフの比率について小数第2位を四捨五入して表示していることから、合計が100%にならない場合があります。

## 2 アンケート結果の概要

### 2-1 武蔵村山市の「みどり」について

市民が日常生活のなかでみどりを感じるものとしては、「季節の変化の実感」が最も多い意見となりました。次いで、「生きものの生息の場」、「自然とのふれあいの場」が多いことが分かりました。一方、みどりに対して期待していることは、「自然とのふれあいの場」が最も多く、「特になし」という意見は最も少ない意見となりました。

みどりの質と量については「量は十分にあるが、質が良くない」と答えた方が最も多く、全体の約4割でした。また、「量、質ともに十分にある」と答えた方は約3割であり、反対に「量も質も不十分である」と答えた方は約2割でした。

武蔵村山市の「みどり」についての満足度は「やや満足している」が最も多く、約4割でした。また「とても満足している」と合わせると、5割以上の市民が満足傾向であることが分かりました。武蔵村山市のみどりに満足している点としては、「狭山丘陵などの豊かな自然があるから」が最も多い意見となりました。反対に、満足していない点としては、「街路樹が整備されていないから」、「残堀川や空堀川の自然がとぼしいから」、「狭山丘陵しか豊かな自然がないから」などが多い意見となりました。

住まいの地域のみどりについての満足度は「やや満足している」が最も多く、約4割でした。また「とても満足している」と合わせると、5割以上の市民が満足傾向であることが分かりました。住まいの地域のみどりに満足している点としては、「庭木、公園、街路樹などのみどりが多いから」が最も多い意見となりました。反対に、満足していない点としては、「庭木の樹木や生垣が管理されていない箇所が多く景観が悪いから」、「庭木、公園、街路樹などのみどりが少ないから」、「公園の樹木が茂り防犯上問題があるから」などが多い意見となりました。

### 2-2 「みどり」とのかかわりについて

日常の生活でのみどりのかかわりとして最も多かった意見は、「自宅で植物を育てる(庭木、生け垣、鉢植え、プランターなど)」でした。次いで、「身近な庭木や公園などの景色を楽しむ」、「花見や紅葉狩りなどに出かける」、「公園や緑地などで自然観察をする」、「健康づくり、気分転換などのために公園で散歩やジョギングをする」が多い結果となりました。

また、今後みどりにかかわるために、市に支援してほしいこととしては、「植栽管理のための道具の貸し出し」が最も多く、次いで「市内のみどりに関する情報提供」、「みどりに関する講座の開催」、「みどりに関する活動場所の提供」、「苗木や種などの無料配布」が多い結果となりました。

みどりの保全や管理作業への活動実績については「参加したことはない」と答えた人が多く、約9割でした。

### 2-3 「農」とのかかわりについて

日常生活での「農」とのかかわりとして最も多かった意見は、「地元でとれた野菜を買う」でした。次いで、「家庭菜園で野菜を栽培する」が多い結果となりました。一方で、「農へのかかわりはない」と答えた人は3番目に多い結果となりました。

市内の農地について、市が積極的に取り組んでほしいこととしては、「現在の農家が農業を続けられるように支援制度を整える」が最も多く、約4割でした。

### 2-4 「公園」とのかかわりについて

公園の利用頻度については「あまり利用していない」という意見が最も多く、全体の約6割でした。利用しない理由としては、「子どもが大きくなったから」が多く、次いで「公園でやりたいことがないから」、「公園に行く時間がないから」という意見が多いことが分かりました。

公園をより利用してもらうために必要なことでは、「ごみがない、トイレがきれい、犬のフンを持ち帰るなど利用者がマナーを守る」が最も多く、次いで「見通しを良くし、うす暗いなどの防犯上の問題を改善する」、「樹木や花壇を増やし景観をよくする」でした。

公園改修の方向性については、「規模の大小にかかわらず、古いものから改修する」という意見が最も多く、次いで「市内の公園分布状況に差がないように、公園の足りない区域を優先して整備する」、「地域の公園分布状況に応じて、公園の統廃合を検討する」という意見が多いことが分かりました。

新たな公園を作る場合については、「子どもが安心して遊べる公園」が最も多く求められており、次いで「草木や花木によって季節が感じられる公園」、「防災機能を備えた公園」が求められていることが分かりました。

公園内の樹木維持管理方法については、「樹木の量は減らさずに、適正な剪定により管理する」が最も多く、全体の約4割でした。次いで、「公園の利用目的に応じて樹木管理計画をつくり、公園樹木を管理する」が多く、こちらも約4割でした。

公園の維持管理方法については、「今までのように、行政が主体となって管理をする」が最も多く、全体の約4割でした。次いで、「市民と行政が協働で、市民参加型の管理をする」、「指定管理者制度等により、民間事業者が管理をする」が多く、どちらも約3割でした。

公園・緑地等でのボランティア活動への参加については、「参加したいが時間がない、体力的にできない」という方が最も多く、全体の約4割でした。また、「機会があれば参加したい」という方は全体の約3割でした。一方、「すでにボランティア活動を行っている」という方は1%未満であり、非常に少ないことが分かりました。

## 2-5 狭山丘陵について

狭山丘陵の利用頻度について、「毎年利用している」人は約2割、「不定期だが利用している」人は約3割、「利用したことがある」人は約4割であり、全体では約9割の人が一度は狭山丘陵を利用したことがあることが分かりました。

定期的な利用をしている人の最も多い利用目的は、「ハイキング、トレッキング、ランニング、サイクリングなどを楽しむ」であり、次いで、「かたくりの湯に行く」、「アスレチック遊具などで遊ぶ」、「狭山丘陵で生物観察をする」が多いことが分かりました。

## 2-6 街路樹について

道路の緑化については、「ハナミズキなどの生長が遅く大木になりにくい街路樹のある道路」と「サクラやケヤキなど地域のシンボルとなる街路樹のある道路」が最も多く、どちらも全体の約3割でした。次いで、「単一の樹種による街路樹ではなく、複数の樹種を組合せた街路樹のある道路」が多く、約2割でした。

市内の大木化、老朽化した街路樹の管理方法については、「定期的な健全度調査や適正な剪定を実施し、現在の街路樹を維持管理する」が最も多く、全体の約5割でした。次いで、「大木化、老木化した街路樹は、大きくなりにくい樹種や低木に植え替える」が多く、全体の約3割でした。

## 2-7 「みどり」に関する市の取組について

保護樹木等の制度については、約8割の方は知らないことが分かりました。また、知らない方のうち、該当する樹木を所有している人は全体の6.6%でした。また、制度について知っている方について、「利用したいと思う」と答えた方は8.4%でした。

保存樹木等の奨励金制度については、「樹木や樹林を保全するために、現状の制度を継続すべきである」と答えた方は全体の約5割でした。また、「指定基準を緩和し、より多くの樹木や樹林等を指定し保全すべきである」と答えた方は全体の約2割でした。一方、「所有者の責任で保全し、奨励金の交付は必要ない」と答えた方も全体の約2割でした。

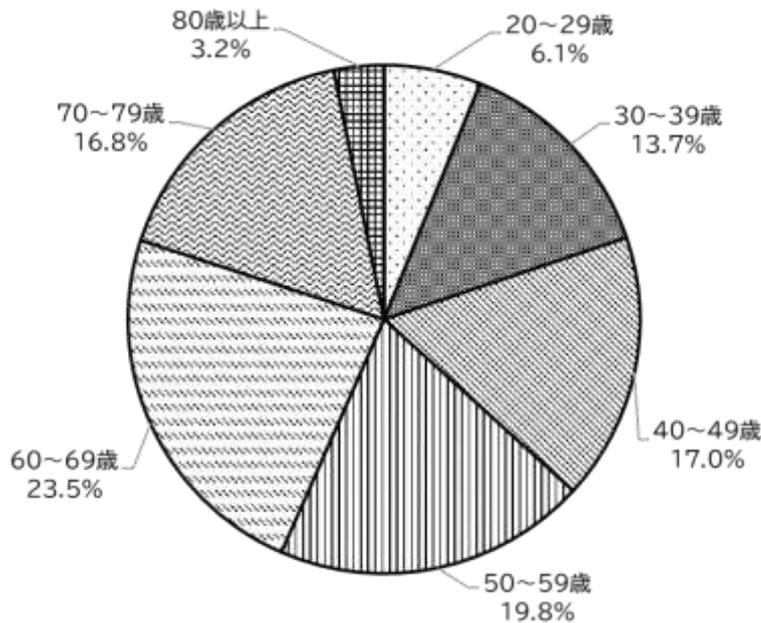
民有地の樹林地を保全するための支援活動については、「市と所有者が協定を結び、市が管理をするとともに、樹林地を公開する」が最も多いことが分かりました。次いで、「市が樹林地を紹介するなど、樹林地の魅力 PR する」、「市と所有者が協定を結び、管理は市民ボランティアが行い、樹林地を公開する」、「所有者の意向に任せ、行政や市民があまり関与すべきではない」となりました。

### 3 アンケート調査結果

#### 3-1 ご自身のことについて

##### 問1 あなたの年齢について

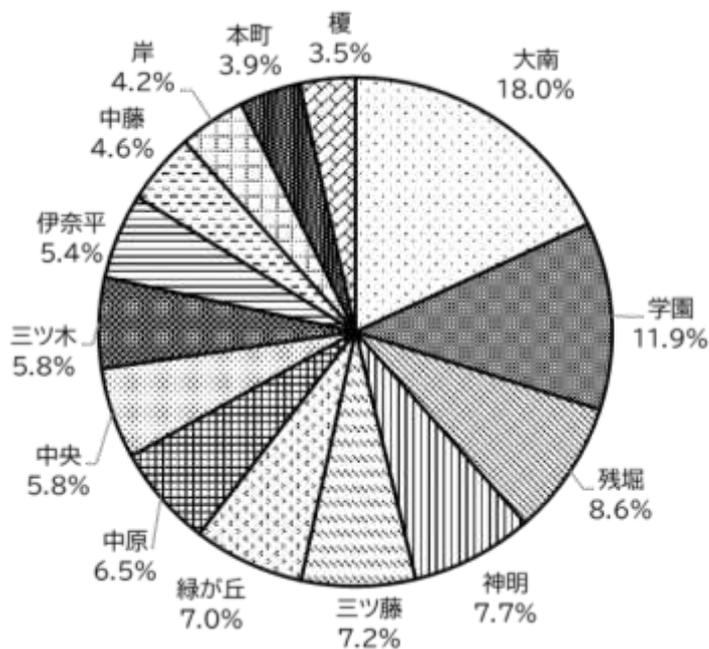
年齢別の回答数は60～69歳が最も多く23.5%、次いで50～59歳が19.8%となっており、比較的高齢者の方の回答が多いことが分かりました。



回答	件数
20～29歳	35
30～39歳	78
40～49歳	97
50～59歳	113
60～69歳	134
70～79歳	96
80歳以上	18
合計	571

##### 問2 あなたのお住いの地区について

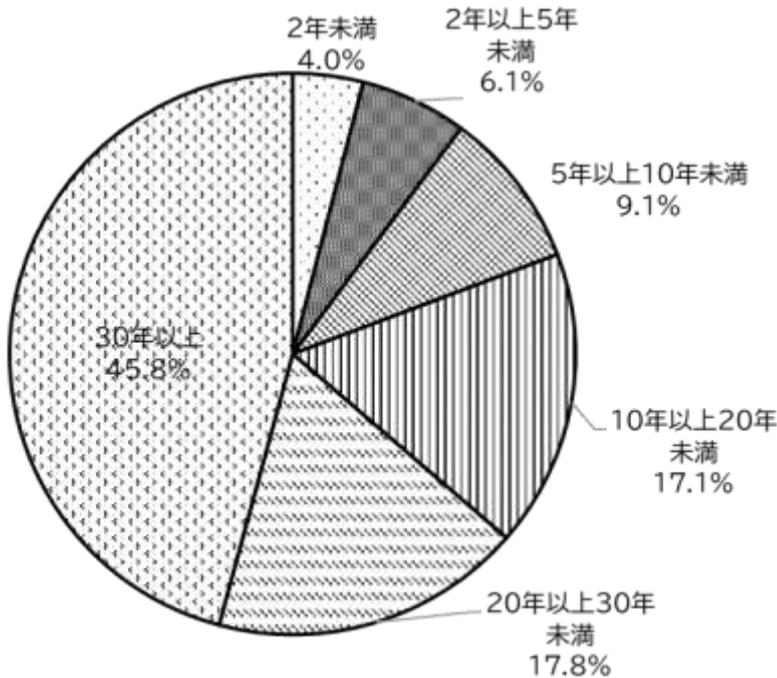
居住地区別の回答数は大南地区が最も多く18.0%、次いで学園地区が11.9%となりました。その他の地域については概ね4～8%の範囲で回答していることが分かりました。



回答	件数
大南	103
学園	68
残堀	49
神明	44
三ツ藤	41
緑が丘	40
中原	37
中央	33
三ツ木	33
伊奈平	31
中藤	26
岸	24
本町	22
榎	20
合計	571

問3 あなたは武蔵村山市に住んで何年になりますか

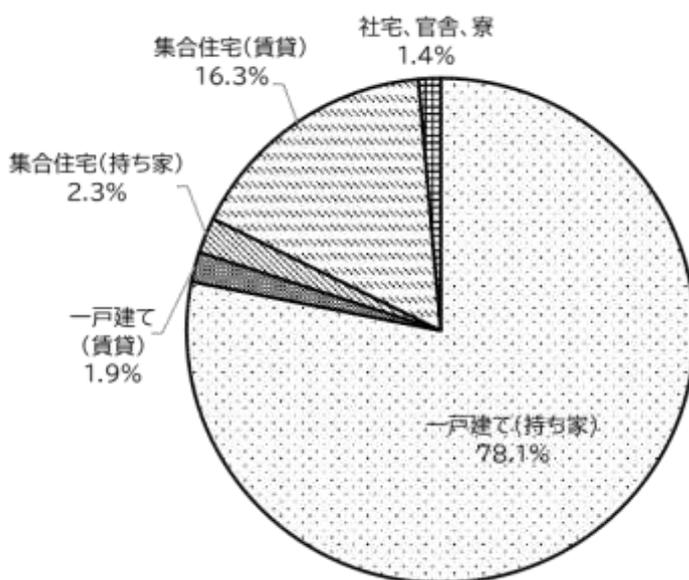
居住年数別の回答数は30年以上が45.8%であり、20年以上30年未満を合わせると63.6%となりました。武蔵村山に比較的長くお住まいの方がみどりに関心を持たれていることが伺えます。



回答	件数
2年未満	23
2年以上5年未満	35
5年以上10年未満	52
10年以上20年未満	98
20年以上30年未満	102
30年以上	262
合計	572

問4 あなたの現在のお住まいについて

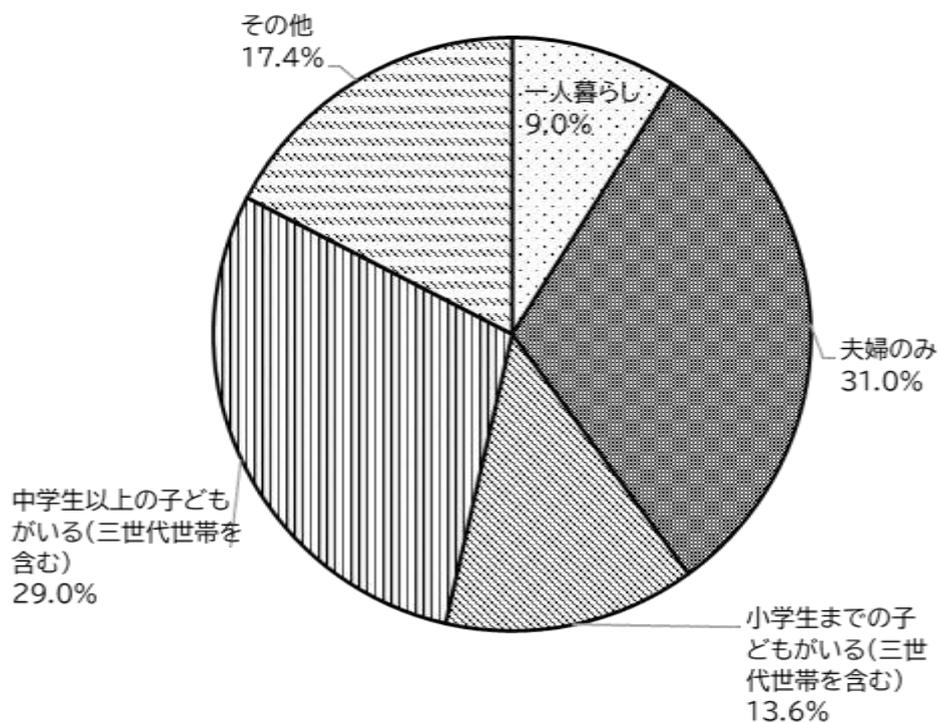
居住形態別の回答数は「一戸建て(持ち家)」が78.1%であり、次いで「集合住宅(賃貸)」が16.3%でした。多くの方が家を購入していることから、武蔵村山市に長く住む予定であることが伺えます。



回答	件数
一戸建て(持ち家)	446
一戸建て(賃貸)	11
集合住宅(持ち家)	13
集合住宅(賃貸)	93
社宅、官舎、寮	8
合計	571

### 問5 同居されているご家族について

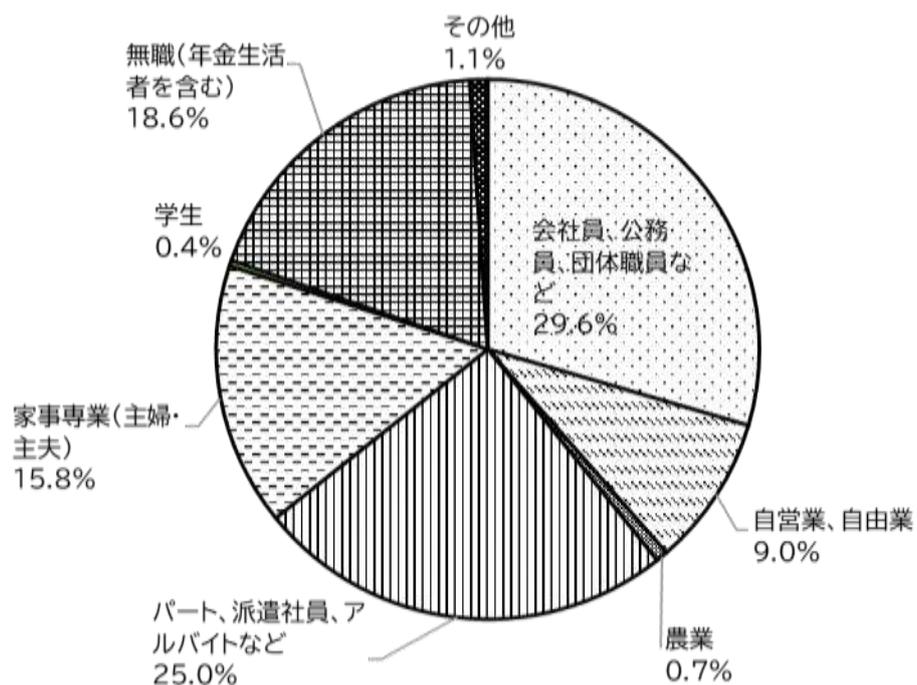
同居人別の回答者数は「夫婦のみ」の回答が最も多く31.0%、次いで中学生以上の子どもがいる(三世代世帯を含む)が29.0%でした。また、その他の回答としては、「成人した子とその親」との回答が多い結果となりました。



回答	件数
一人暮らし	50
夫婦のみ	173
小学生までの子どもがいる(三世代世帯を含む)	76
中学生以上の子どもがいる(三世代世帯を含む)	162
その他	97
合計	558

## 問6 あなたの職業について

職業別の回答数は「会社員、公務員、団体職員など」が最も多く29.6%でした。次いで「パート、派遣社員、アルバイトなど」が25.0%となりました。

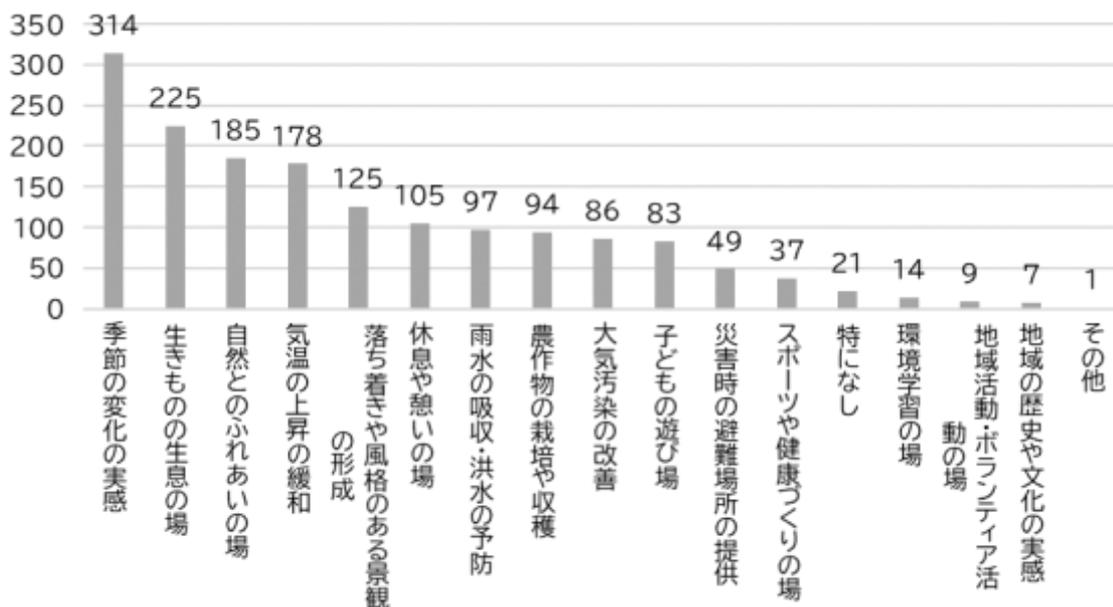


回答	件数
会社員、公務員、団体職員など	167
自営業、自由業	51
農業	4
パート、派遣社員、アルバイトなど	141
家事専業(主婦・主夫)	89
学生	2
無職(年金生活者を含む)	105
その他	6
合計	565

### 3-2 武蔵村山市の「みどり」について

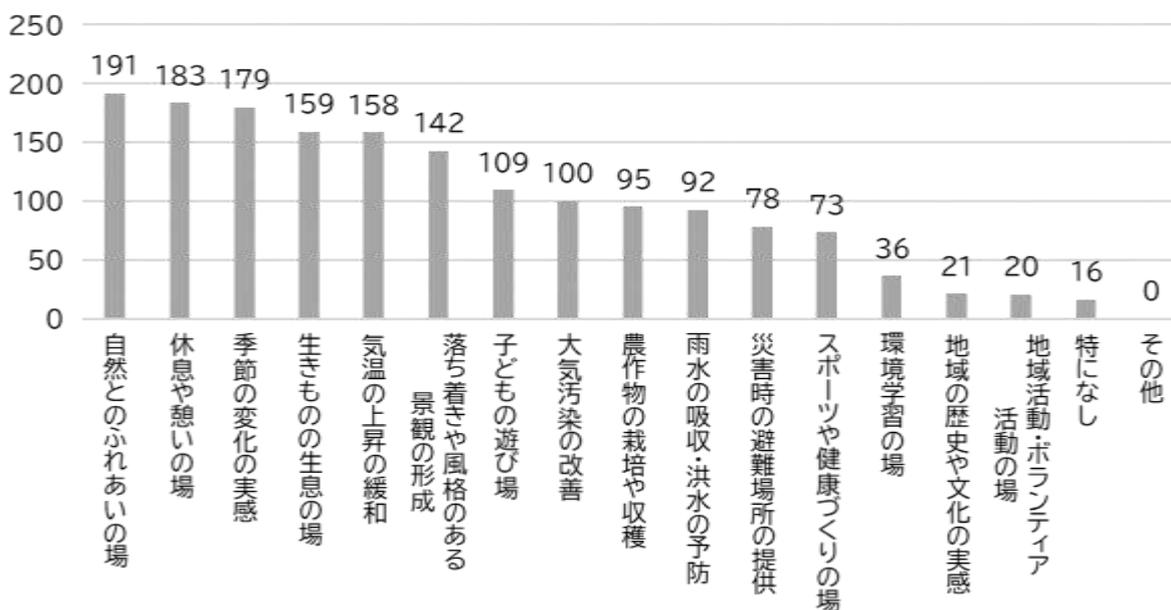
問7 みどりには様々な機能がありますが、あなたが日常の生活の中で感じるものはありませんか。(3つ選択式)

日常の生活で感じるみどりとして最も多かった回答は、「季節の変化の実感」でした。次いで、「生きものの生息の場」、「自然とのふれあいの場」、「気温の上昇の緩和」でした。一方、「地域の歴史や文化の実感」、「地域活動・ボランティア活動の場」、「環境学習の場」と回答した人は少なく、まだまだみどりに関する活動が生活に根付いていないことが浮き彫りになりました。



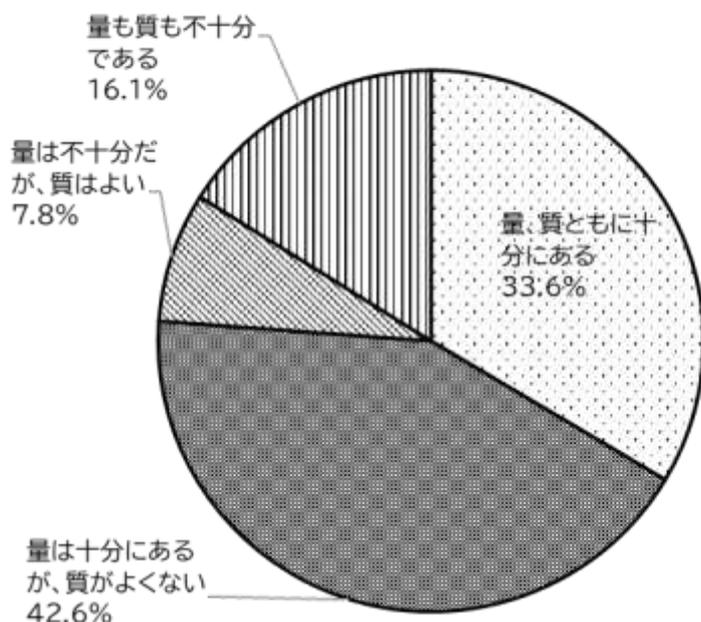
問8 あなたは武蔵村山市の「みどり」に、どのようなことを期待しますか。(3つ選択式)

みどりに期待することとして最も多かった回答は、「自然とのふれあいの場」でした。次いで、「休息や憩いの場」、「季節の変化の実感」、「生きものの生息の場」でした。問7との回答と比較して、上位にくる回答は同様の内容が多く、市民の方々は日々の生活で感じているみどりに期待していることが分かりました。



問9 あなたは、武蔵村山市のみどりの量と質について、どのように感じますか。

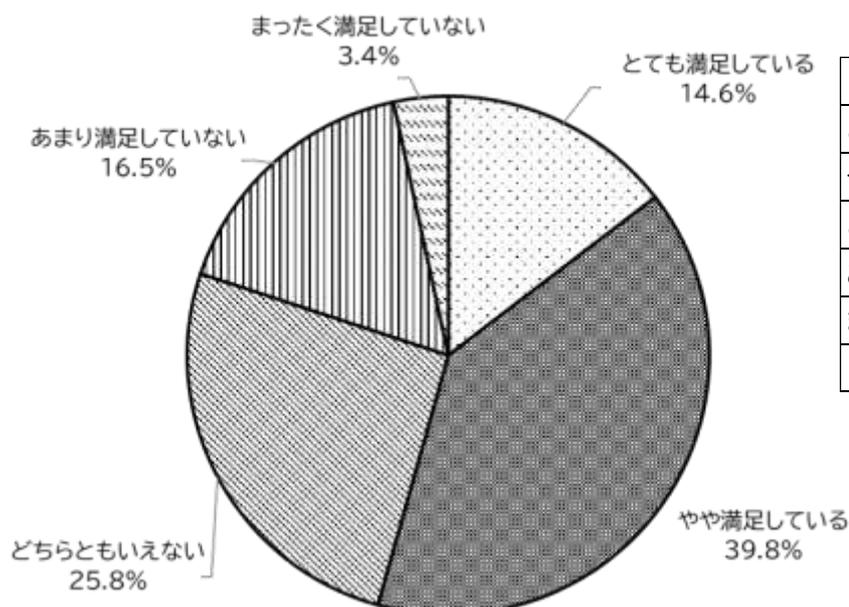
みどりの量と質について、「量は十分にあるが、質がよくない」との回答が最も多く42.6%でした。次いで、「量、質ともに十分にある」との回答が33.6%でした。「量も質も不十分である」との回答は16.1%でした。多くの市民がみどりの量に関しては十分と考えている一方で、質についてはよくないと考えていることが分かりました。



回答	件数
量、質ともに十分にある	186
量は十分にあるが、質がよくない	236
量は不十分だが、質はよい	43
量も質も不十分である	89
合計	554

問10 武蔵村山市の「みどり」について

武蔵村山市のみどりの満足度について、「とても満足している」との回答は14.6%、「やや満足している」との回答は39.8%であり、半数以上の回答がみどりに関して満足傾向であることが分かりました。一方、「まったく満足していない」との回答は3.4%、「あまり満足していない」との回答は16.5%であり、約2割の方はみどりに関して満足していないことが分かりました。

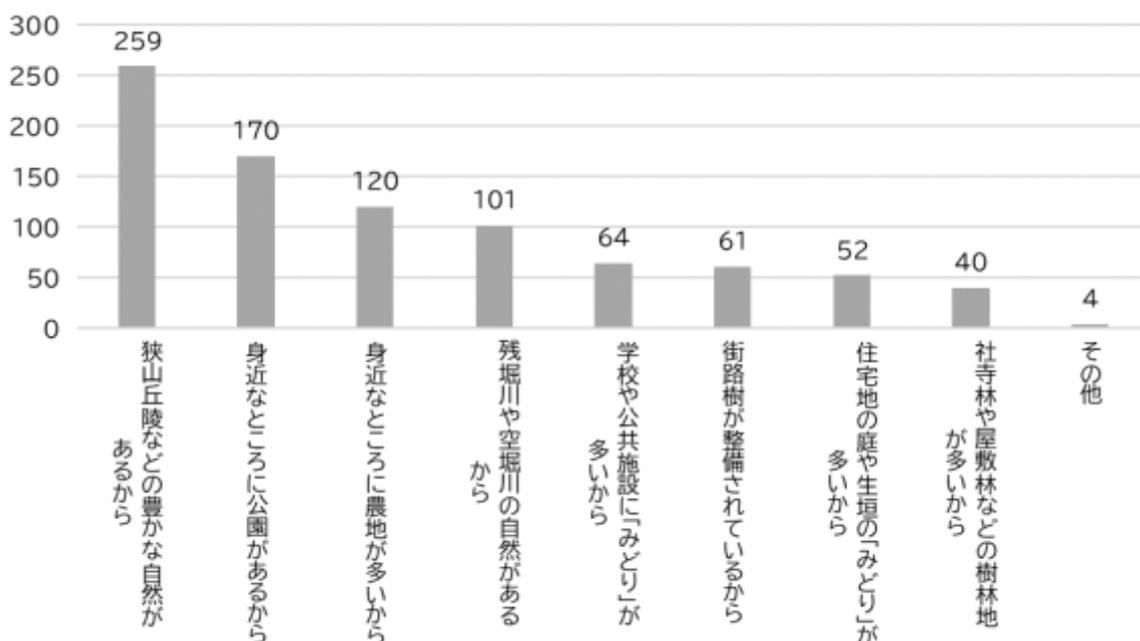


回答	件数
とても満足している	82
やや満足している	224
どちらともいえない	145
あまり満足していない	93
まったく満足していない	19
合計	563

問11 問10で「1とても満足している」または「2やや満足している」とお答えの方におたずねします。あなたが武蔵村山市のみどりで満足している点はなんですか。

(3つ選択式)

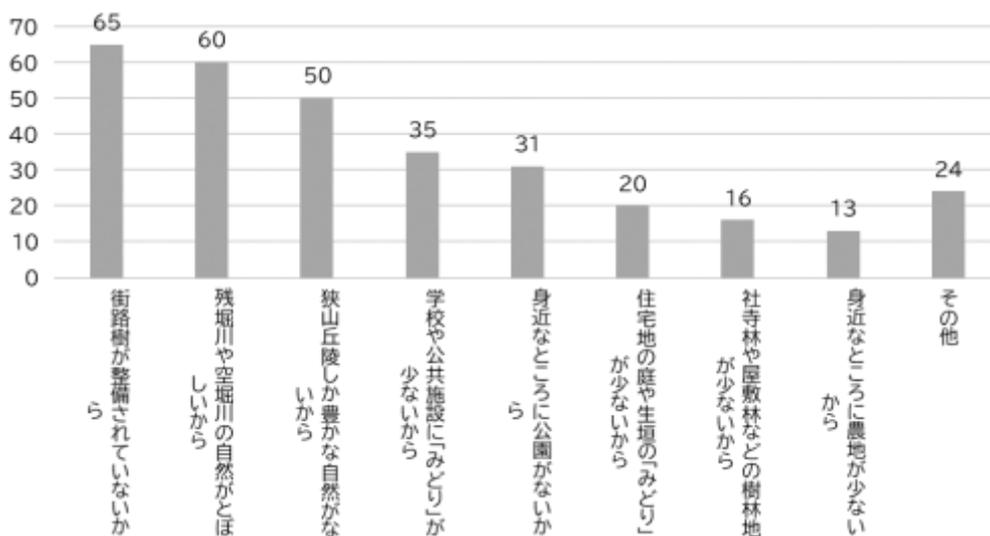
武蔵村山市のみどりに満足している点としては、「狭山丘陵などの豊かな自然があるから」との回答が最も多く、次いで「身近なところに公園があるから」、「身近なところに農地があるから」、「残堀川や空堀川の自然があるから」でした。武蔵村山市のみどりの骨格ともいえる狭山丘陵に満足している意見が多いことや、公園や農地など市内にある身近なみどりに満足していることが分かりました。



問12 問10で「4あまり満足していない」または「5まったく満足していない」とお答えの方におたずねします。あなたが武蔵村山市のみどりで満足していない点はなんですか。

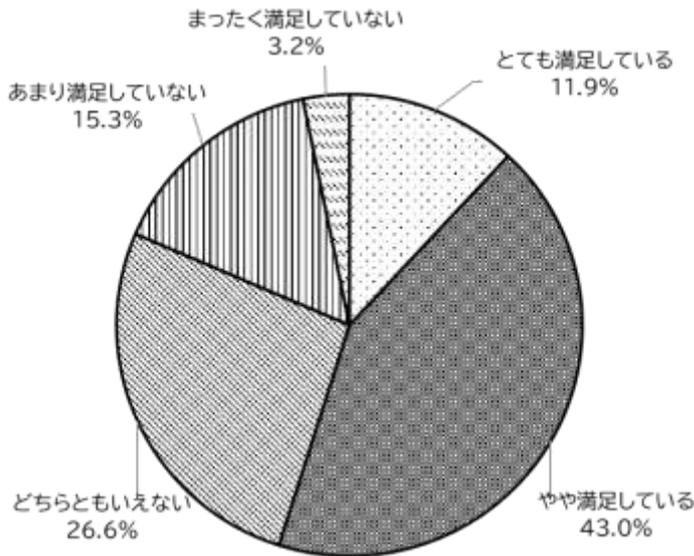
(3つ選択式)

武蔵村山市のみどりに満足していない点としては、「街路樹が整備されていないから」との回答が最も多く、次いで、「残堀川や空堀川の自然がとぼしいから」、「狭山丘陵しか豊かな自然がないから」でした。今後みどりを整備していくにあたっては狭山丘陵のみどりだけでなく、街路樹等の身近なみどりにも力を入れていく必要があることが分かりました。



問13 あなたがお住いの地域の「みどり」について

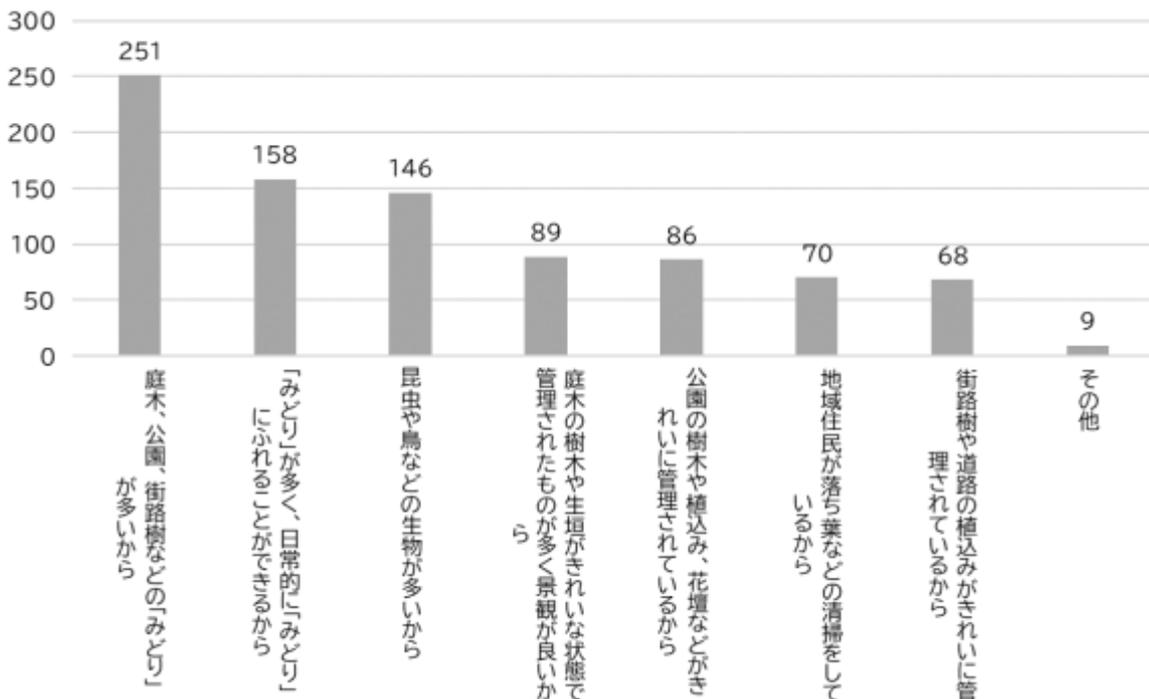
お住まいの地域のみどりについて、「とても満足している」との回答は11.9%、「やや満足している」との回答は43.0%であり、回答数の半数以上がみどりに関して満足傾向であることが分かりました。一方、「まったく満足していない」との回答は3.2%、「あまり満足していない」との回答は15.3%であり、約2割の方はみどりに関して満足していないことが分かりました。



回答	件数
とても満足している	67
やや満足している	241
どちらともいえない	149
あまり満足していない	86
まったく満足していない	18
合計	561

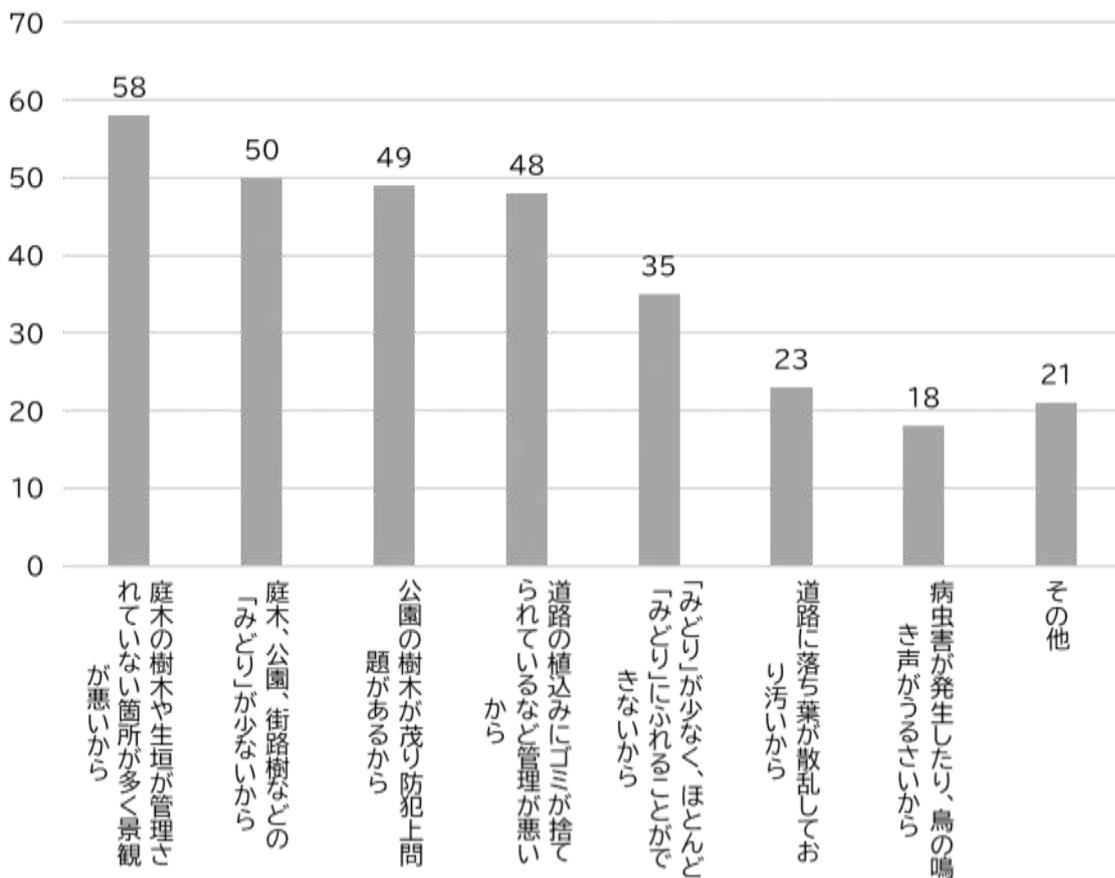
問14 問13で「1とても満足している」または「2やや満足している」とお答えの方におたずねします。あなたがお住いの地域の「みどり」で満足している点はなんですか。  
(3つ選択式)

お住まいの地域のみどりに満足している点としては、「庭木、公園、街路樹などのみどりが多いから」との回答が最も多く、次いで「みどりが多く、日常的にみどりにふれることができるから」、「昆虫や鳥などの生物が多いから」でした。また、地域住民による落ち葉などの清掃活動や街路樹や道路の植込みの管理が行き届いていることに対して満足している方も一定数いることが分かりました。



問15 問13で「4あまり満足していない」または「5まったく満足していない」とお答えの方におたずねします。あなたがお住いの地域の「みどり」で満足していない点はなんですか。(3つ選択式)

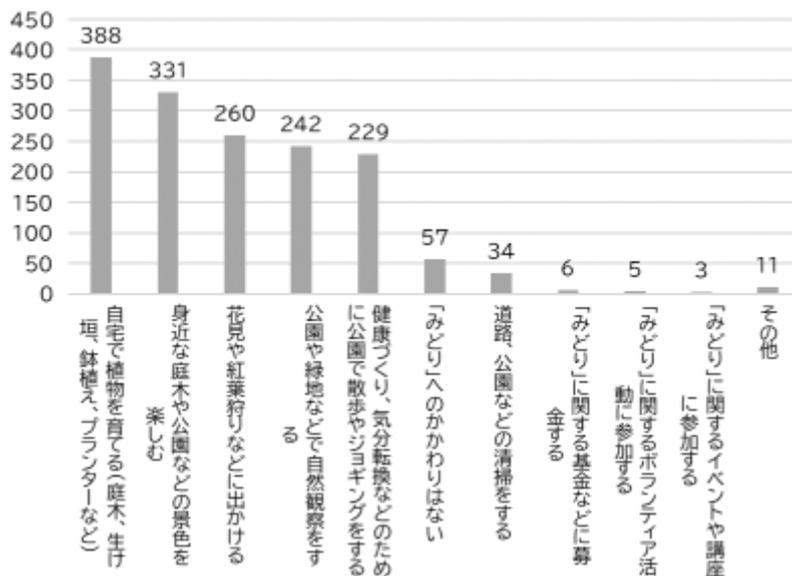
お住まいの地域のみどりに満足していない点としては、「庭木の樹木や生垣が管理されていない箇所が多く景観が悪いから」との回答が最も多く、次いで、「庭木、公園、街路樹などのみどりが少ないから」、「公園の樹木が茂り防犯上問題があるから」、「道路の植込みにゴミが捨てられているなど管理が悪いから」でした。全般的にみどりの「質」に対して満足していない傾向があり、今後身近なみどりを整備していくに当たってはみどりの「質」を高める必要があることが分かりました。



### 3-3 「みどり」とのかかわりについて

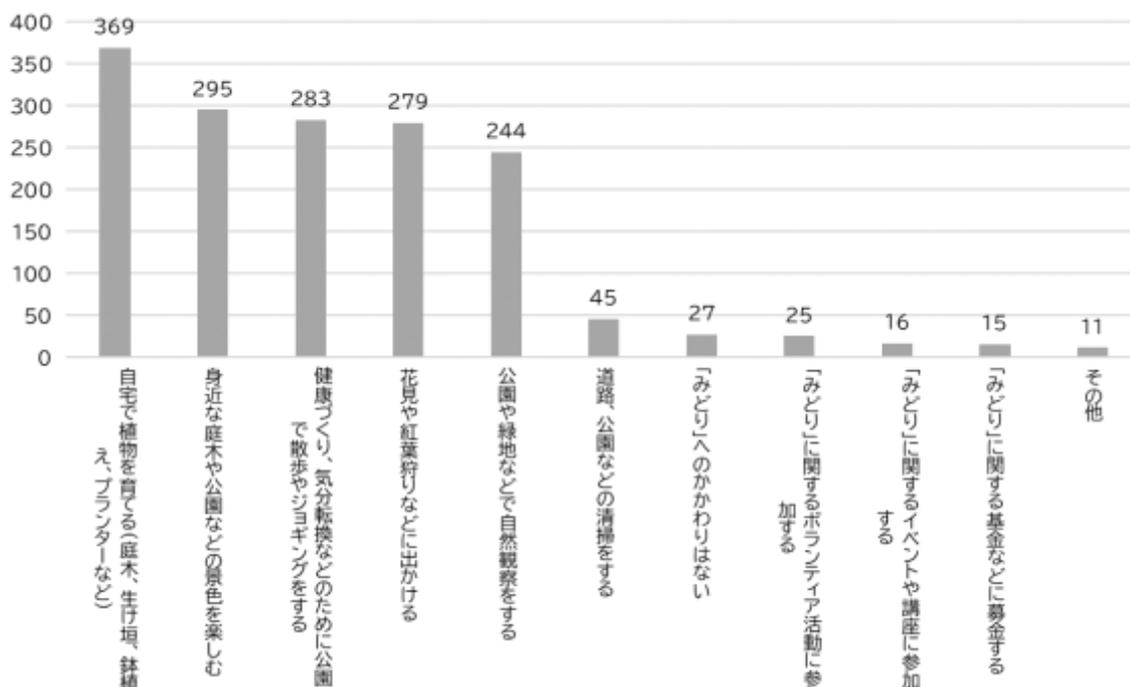
問16 日常の生活で、あなたはどのように「みどり」とかかわっていますか。(3つ選択式)

みどりのかかわりで最も多かった回答は、「自宅で植物を育てる(庭木、生け垣、鉢植え、プランターなど)」でした。次いで、「身近な庭木や公園などの景色を楽しむ」、「花見や紅葉狩りなどに出かける」、「公園や緑地などで自然観察をする」、「健康づくり、気分転換などのために公園で散歩やジョギングをする」でした。今回の回答者の居住形態では一戸建ての方が多かったため、自宅で植物を育てる意見が多かったと推察されます。また、活動内容は異なりますが公園の起点として、自然観察や散歩、景色を楽しむ等でみどりとかかわりをもつとの意見が多いことも分かりました。



問17 今後、あなたはどのようにみどりとかかわっていきたいですか。(3つ選択式)

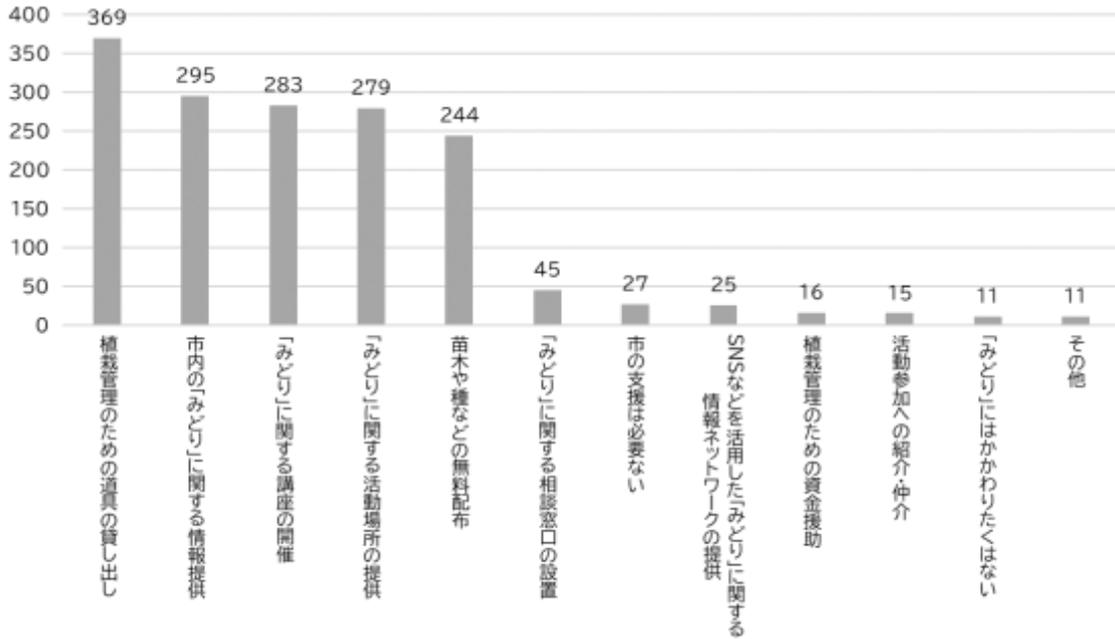
今後のみどりとのかかわりで最も多かった意見は、「自宅で植物を育てる(庭木、生け垣、鉢植え、プランターなど)」でした。その他問16との回答に大きな変化が見られないことから、市民の多くは今後もみどりとのかかわりは身近なみどりにかかわっていきたいことが推察できます。



問18 あなたがみどりにかかわるために、市に支援してほしいことはありますか。

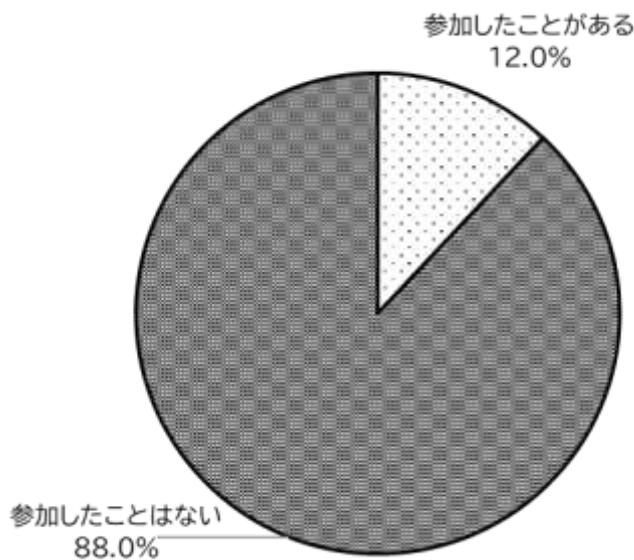
(3つ選択式)

みどりとのかかわりに関して、市に支援してほしいこととして最も多かった回答は、「植栽管理のための道具の貸し出し」でした。次いで、「市内のみどりに関する情報提供」、「みどりに関する講座の開催」、「みどりに関する活動場所の提供」、「苗木や種などの無料配布」でした。特にハード面の整備ではなく、ソフト面での支援が求められていることが分かりました。



問19 あなたは、今までに「みどり」の保全や管理作業などに参加したことがありますか。

みどりの保全や管理作業に関する活動実績では、ほぼ9割の回答が「参加したことがない」でした。

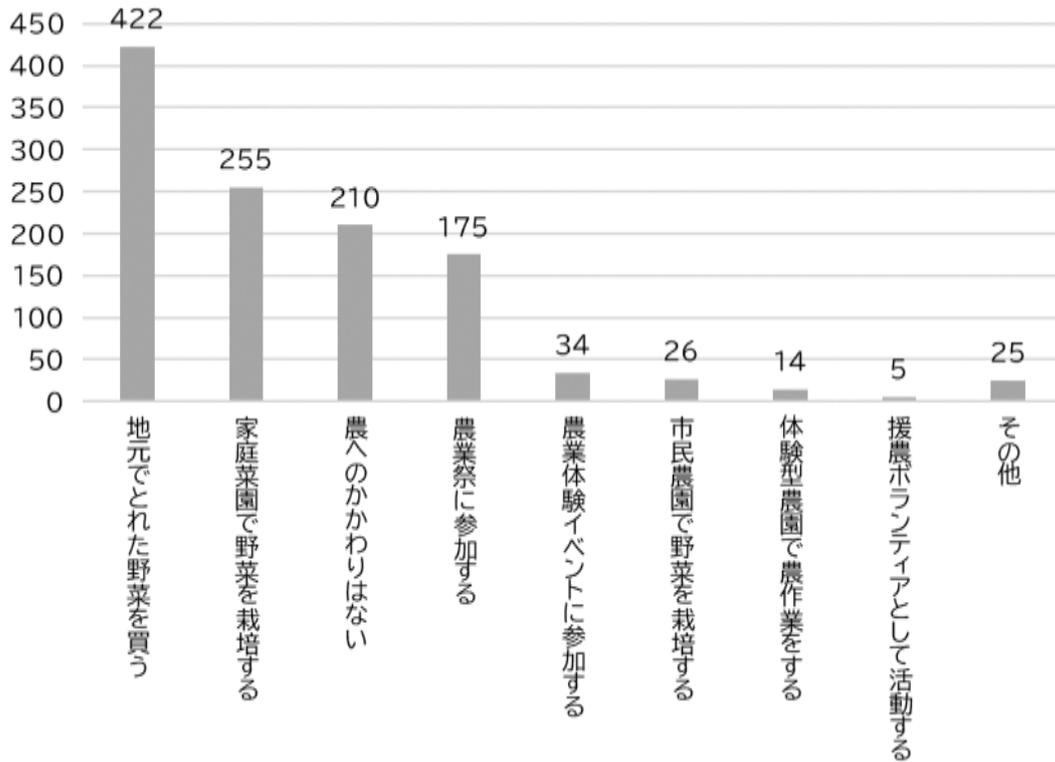


回答	件数
参加したことがある	68
参加したことはない	500
合計	568

### 3-4 「農」とのかかわりについて

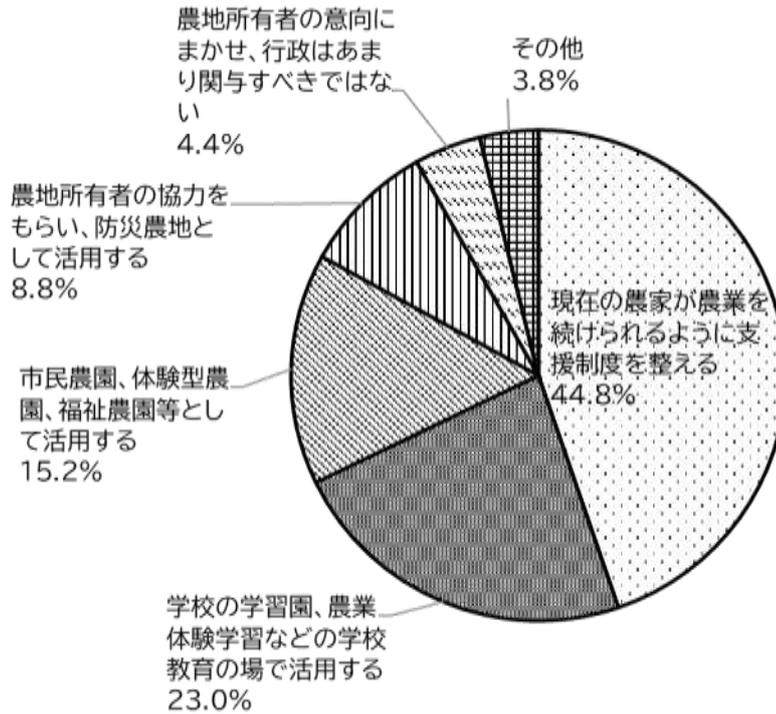
問20 市内には多くの農地がありますが、日常生活であなたはどのように「農」とかかわっていますか。(3つ選択式)

農とのかかわりについては、「地元でとれた野菜を買う」との回答が最も多く、次いで、「家庭菜園で野菜を栽培する」でした。武蔵村山市には市内に56箇所の直売所があり、市内の農産物を知ってもらうために「武蔵村山市直売まつぷ」を作成し、情報発信を行っています。そのため、市民の方にも地産地消の意識が高いものと考えられます。一方で、「農へのかかわりはない」との回答も一定数あることが分かりました。



問21 市内の農地のあり方について、あなたは市がどのようなことに積極的に取り組んでほしいと思いますか。

農地のあり方について、市に取り組んで欲しいこととして最も多かった意見は、「現在の農家が農業を続けられるように支援制度を整える」であり全体の44.8%でした。次いで、「学校の学習園、農業体験学習などの学校教育の場で活用する」が23.0%でした。

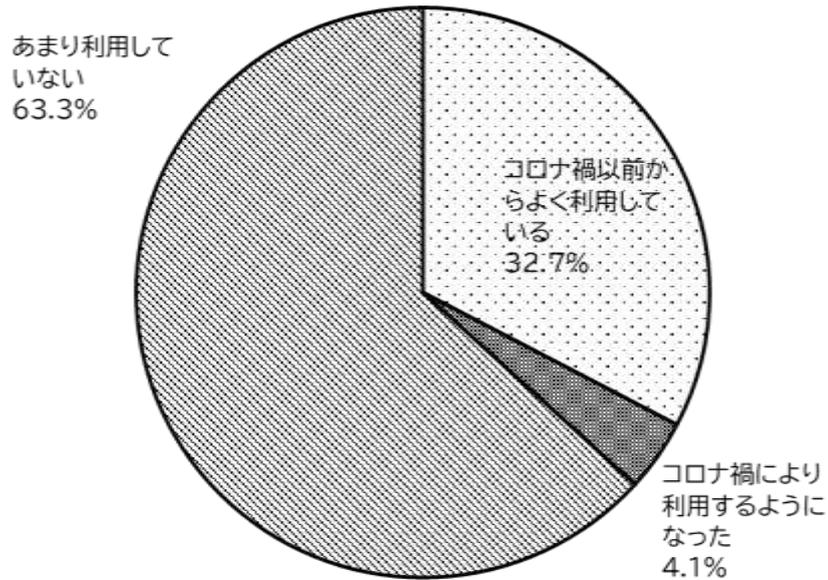


回答	件数
現在の農家が農業を続けられるように支援制度を整える	235
学校の学習園、農業体験学習などの学校教育の場で活用する	121
市民農園、体験型農園、福祉農園等として活用する	80
農地所有者の協力をもらい、防災農地として活用する	46
農地所有者の意向にまかせ、行政はあまり関与すべきではない	23
その他	20
合計	525

### 3-5 「公園」とのかかわりについて

問22 コロナ禍で生活様式が大きく変わり、公園の価値が見直されるようになってきました。市内には大南公園や雷塚公園などの約70箇所の公園がありますが、あなたは日常の生活で、公園を利用していますか。

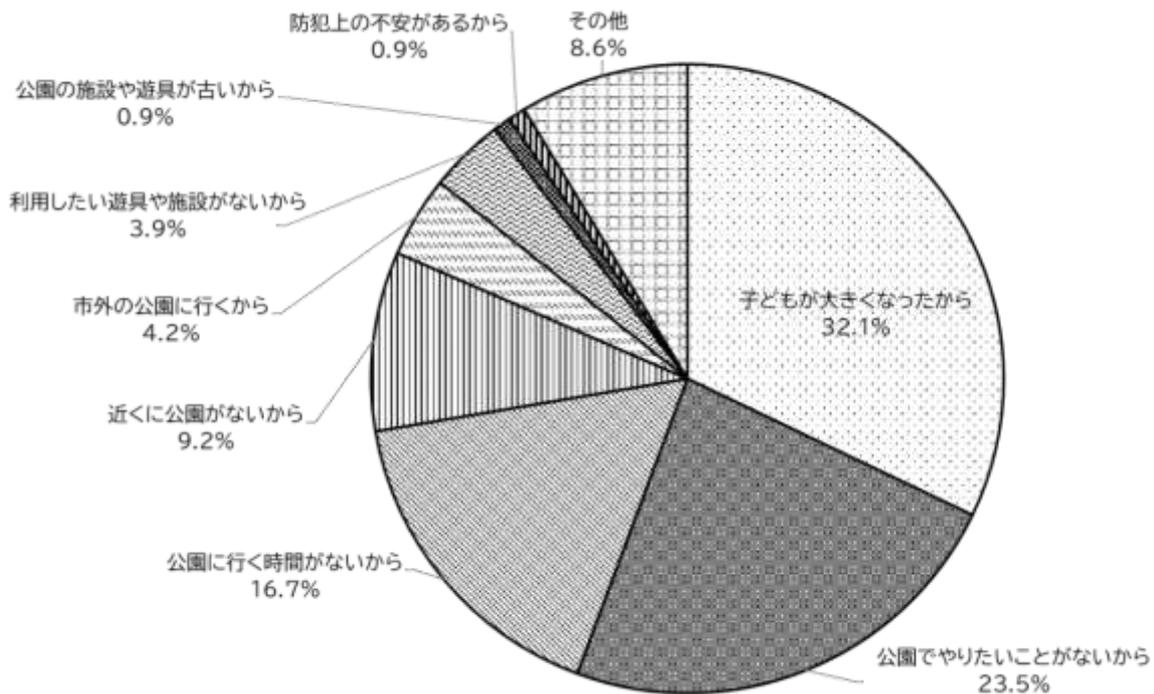
日常での公園の利用について、「あまり利用していない」との回答が最も多く、全体の63.3%でした。また、「コロナ禍以前からよく利用している」との回答は32.7%であり、公園の利用に関して、コロナ前後による変化は大きくみられないことが分かりました。



回答	件数
コロナ禍以前からよく利用している	185
コロナ禍により利用するようになった	23
あまり利用していない	358
合計	566

問23 問22で「3あまり利用していない」とお答えの方におたずねします。あなたが公園を利用しない主な理由は何ですか。

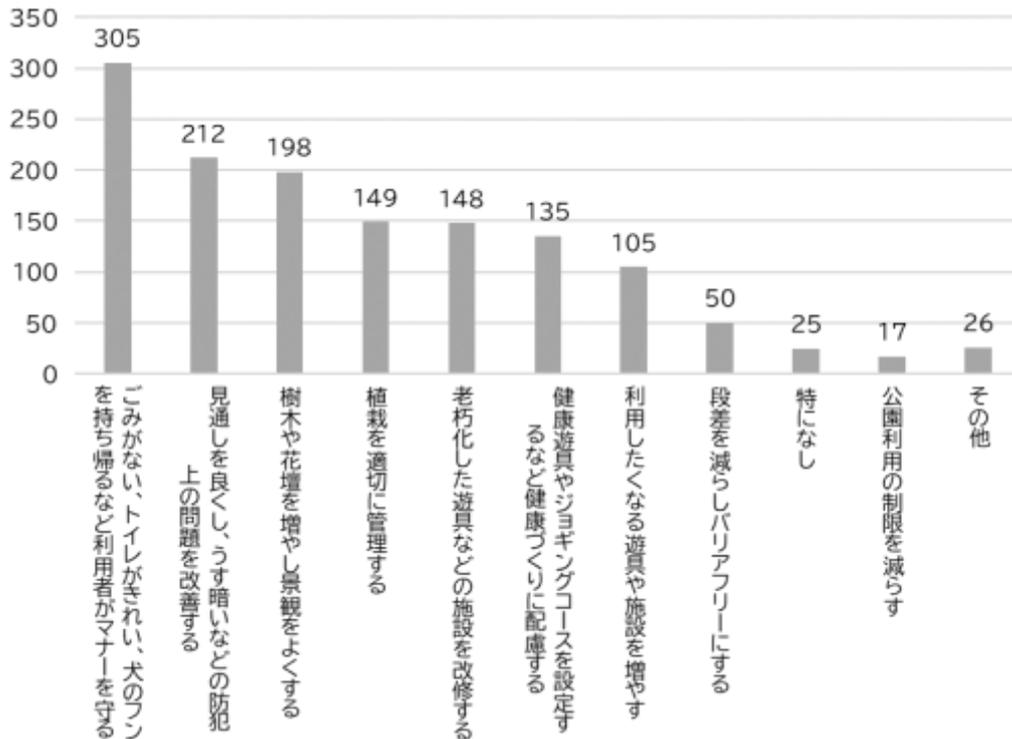
公園をあまり利用しない理由として最も多かった意見は、「子どもが大きくなったから」であり、全体の32.1%でした。次いで、「公園でやりたいことがないから」が23.5%、「公園に行く時間がないから」が16.7%でした。武蔵村山市には開園してから30年以上経過した公園が多くあるため、今後は地域ごとの人口構成の変化や市民ニーズに対応した公園づくりが求められています。



回答	件数
子どもが大きくなったから	108
公園でやりたいことがないから	79
公園に行く時間がないから	56
近くに公園がないから	31
市外の公園に行くから	14
利用したい遊具や施設がないから	13
公園の施設や遊具が古いから	3
防犯上の不安があるから	3
その他	29
合計	336

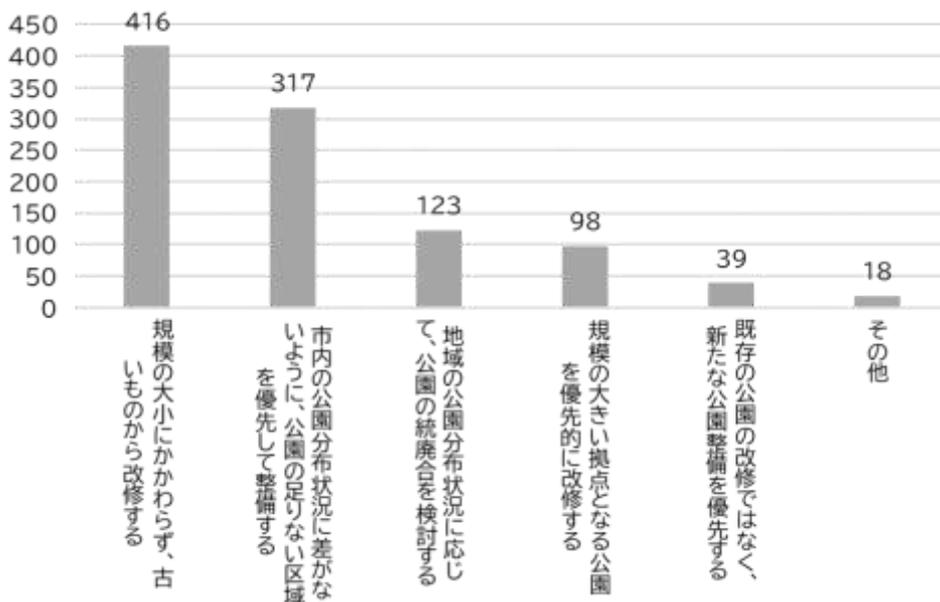
問24 「もっと利用したい」と思える公園にするには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つ選択式)

公園をもっと利用したいと思えるために必要なこととしては、「ごみがない、トイレがきれい、犬のフンを持ち帰るなど利用者がマナーを守る」が最も多い回答でした。また、上位にくる回答は公園の景観に関する内容が多いことが分かりました。



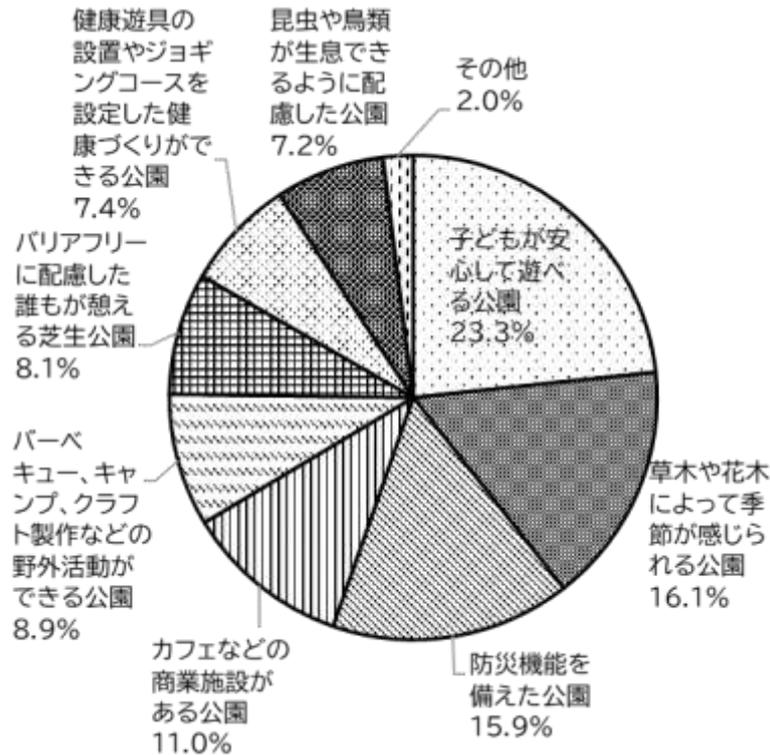
問25 市内の公園には設置後40年以上経過した公園もあり、公園の改修工事が必要です。あなたは、公園の改修の方法としてどのような方法が良いと思いますか。(2つ選択式)

公園の改修方法については、「規模の大小にかかわらず、古いものから改修する」との回答が最も多く、次いで「市内の公園分布状況に差がないように、公園の足りない区域を優先して整備する」でした。



問26 新たな公園をつくる場合、どのような公園ができればよいと思いますか。

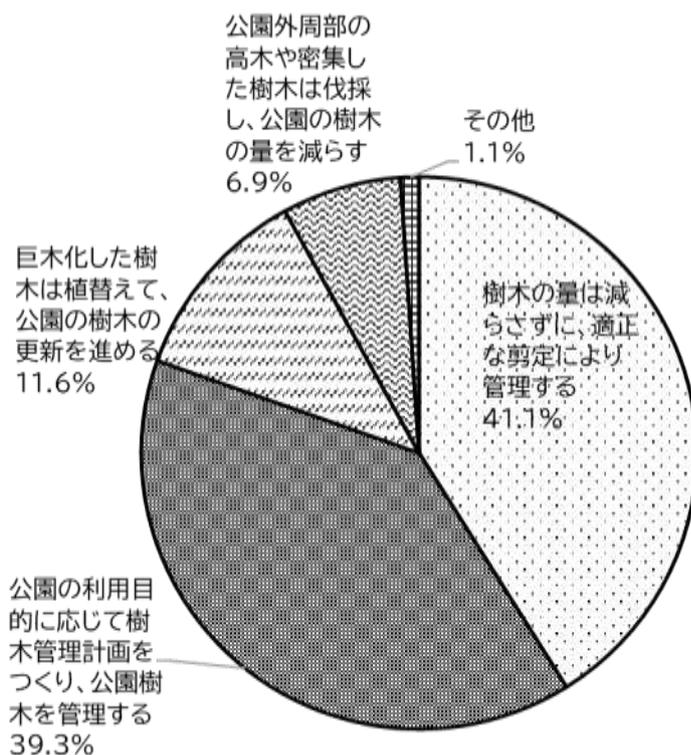
新規の公園に対する市民のニーズは、「子どもが安心して遊べる公園」と回答した方が最も多く、全体23.3%でした。次いで、「草木や花木によって季節が感じられる公園」が16.1%、「防災機能を備えた公園」が15.9%でした。子どもが安心して遊べるや季節を感じられる公園といった従来から求められている公園像が上位の意見としてある一方で、カフェや商業施設、バーベキューやキャンプができる公園といった新たなニーズも一定数あることが分かりました。



回答	件数
子どもが安心して遊べる公園	129
草木や花木によって季節が感じられる公園	89
防災機能を備えた公園	88
カフェなどの商業施設がある公園	61
バーベキュー、キャンプ、クラフト製作などの野外活動ができる公園	49
バリアフリーに配慮した誰もが憩える芝生公園	45
健康遊具の設置やジョギングコースを設定した健康づくりができる公園	41
昆虫や鳥類が生息できるように配慮した公園	40
その他	11
合計	553

問27 市内の公園の樹木は、適切に管理が行われないと樹木の巨木化、密集化が進み、落葉や落枝の増加、見通しが悪くなることがあります。今後の公園の樹木の管理方法として、あなたはどのような方法が良いと思いますか。

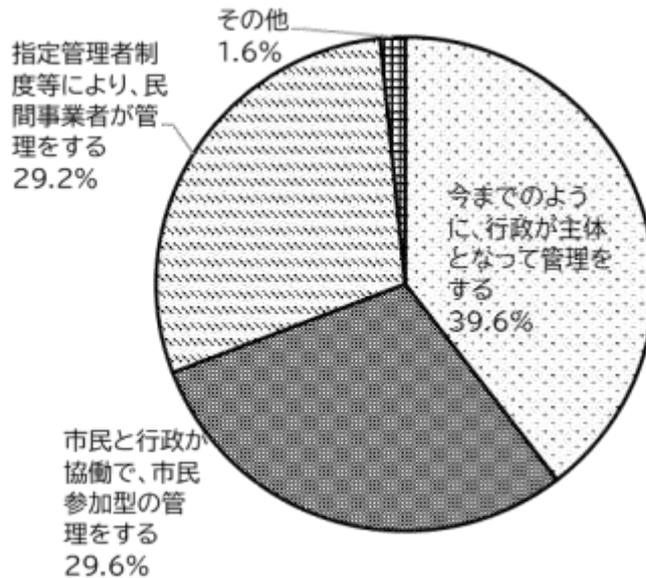
公園の樹木の管理方法として最も多かった意見は、「樹木の量は減らさずに、適正な剪定により管理する」であり全体の41.1%でした。次いで、「公園の利用目的に応じて樹木管理計画をつくり、公園樹木を管理する」が39.3%でした。多くの方が既存の樹木を存置させ、延命化して欲しいことが分かりました。



回答	件数
樹木の量は減らさずに、適正な剪定により管理する	231
公園の利用目的に応じて樹木管理計画をつくり、公園樹木を管理する	221
巨木化した樹木は植替えて、公園の樹木の更新を進める	65
公園外周部の高木や密集した樹木は伐採し、公園の樹木の量を減らす	39
その他	6
合計	562

問28 現在、市が管理をする公園・緑地等の維持管理は行政が中心に行っています。今後の公園の管理方法としてはどのような方法が良いと思いますか。

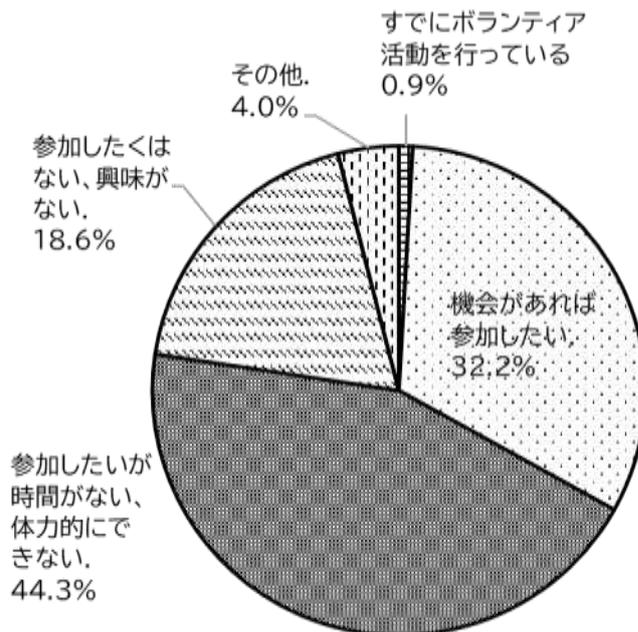
公園・緑地等の維持管理方法については、「今までのように、行政が主体となって管理をする」との回答が最も多く、全体の39.6%でした。次いで、「市民と行政が協働で、市民参加型の管理をする」が29.6%、「指定管理者制度等により、民間事業者が管理をする」が29.2%でした。従来どおり行政主体の管理がよいと考える方が多い一方で、市民参加型の公園管理や民間活力を活用した公園管理も求められていることが分かりました。



回答	件数
今までのように、行政が主体となって管理をする	222
市民と行政が協働で、市民参加型の管理をする	166
指定管理者制度等により、民間事業者が管理をする	164
その他	9
合計	561

問29 市が管理する公園・緑地等では、ボランティアによる花壇等の整備が行われています。あなたは、公園・緑地等のボランティア活動に参加したいと思いますか。

公園・緑地等のボランティア活動については、「参加したいが時間がない、体力的にできない」との回答が最も多く、全体の44.3%でした。また、「参加したくはない、興味がない」との回答は18.6%であり、回答数の約6割が今後もボランティア活動への参加が難しいとの意見でした。

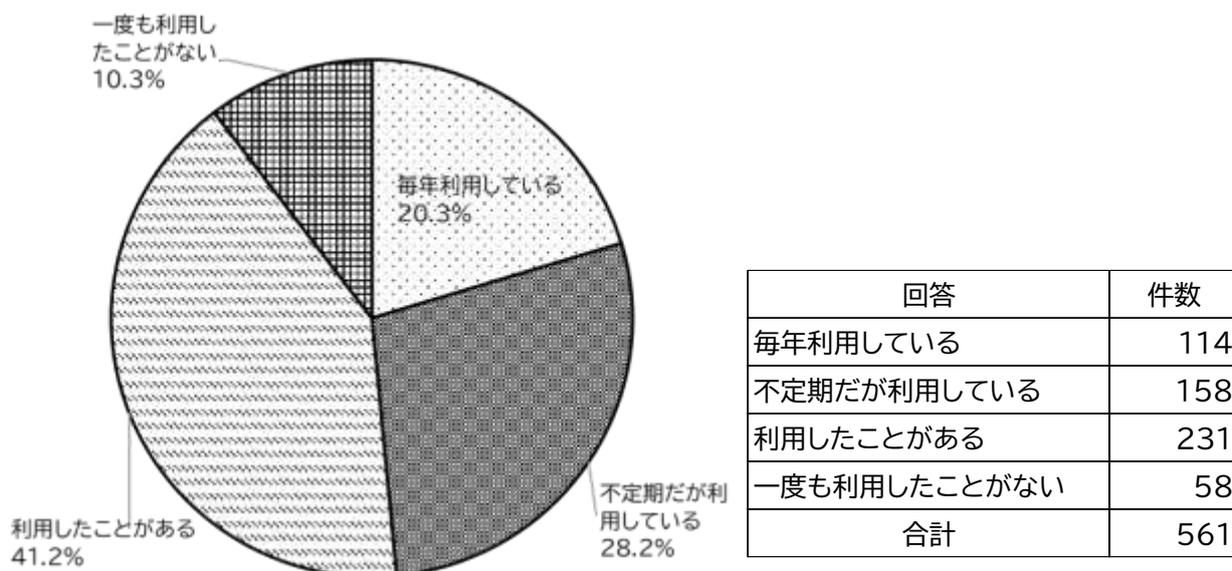


回答	件数
すでにボランティア活動を行っている	5
機会があれば参加したい	178
参加したいが時間がない、体力的にできない	245
参加したくはない、興味がない	103
その他	22
合計	553

### 3-6 狭山丘陵、街路樹について

問30 武蔵村山市の重要なみどりである狭山丘陵は、都立野山北・六道山公園、都立中藤公園、市立野山北公園、かたくりの湯、多摩湖、狭山湖などがあります。あなたは狭山丘陵(市外を含む)を利用したことがありますか。

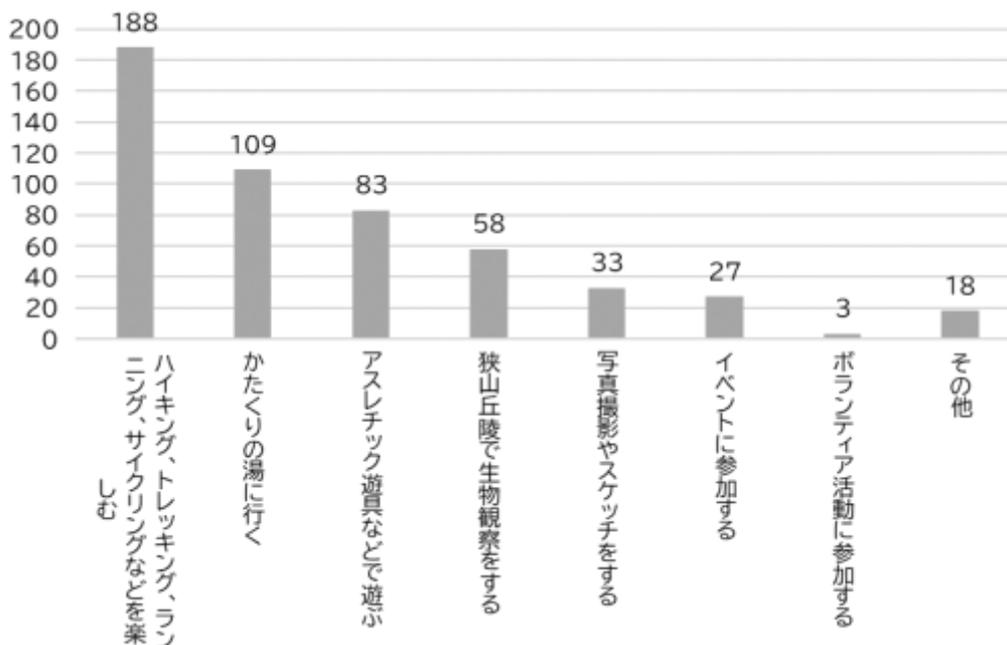
狭山丘陵の利用については、「利用したことがある」との回答が最も多く、全体の41.2%でした。また、「毎年利用している」、「不定期だが利用している」の回答数と合わせると、約9割が一度は狭山丘陵を利用したことがあることが分かりました。



問31 問30で「1毎年利用している」または「2不定期だが利用している」とお答えの方におたずねします。あなたが狭山丘陵(市外を含む)を利用する目的はなんですか。

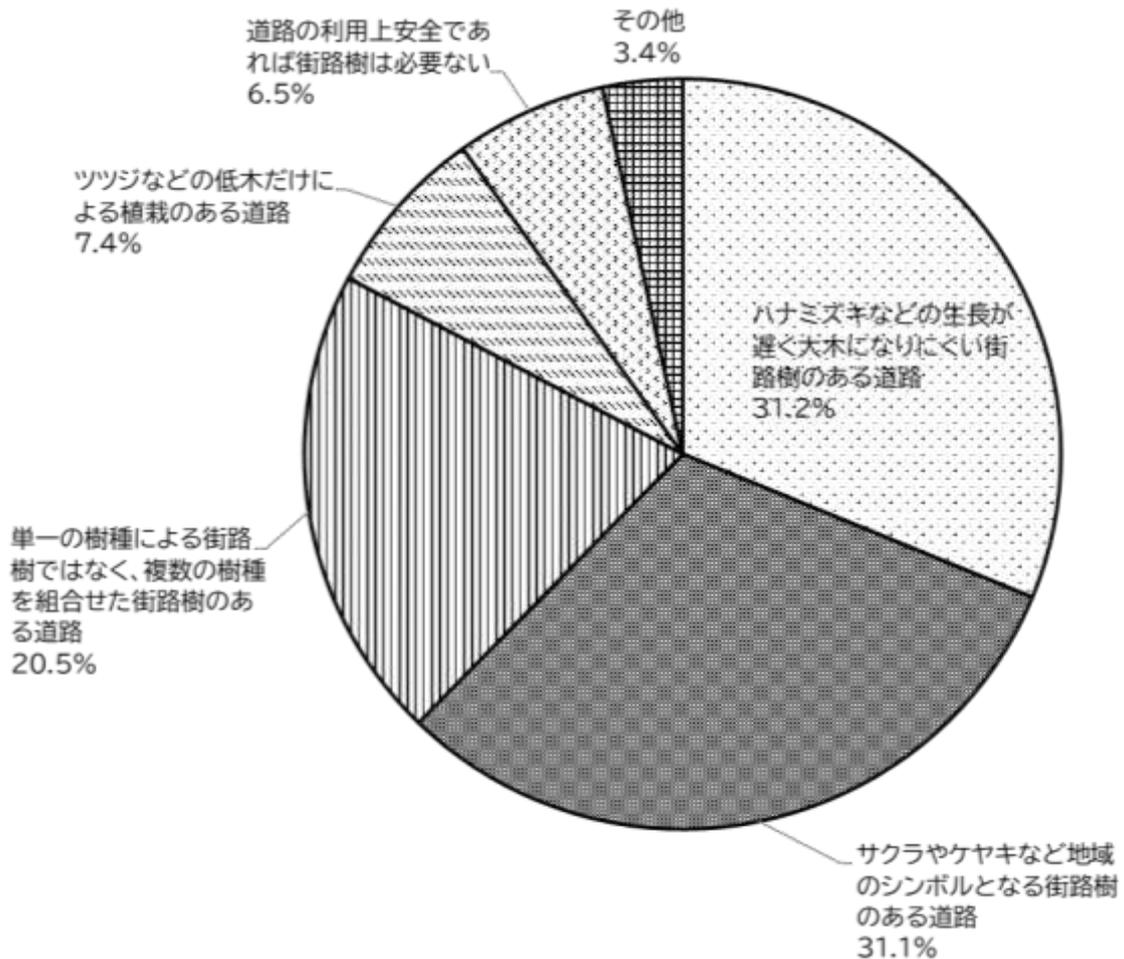
(該当するものに全て選択式)

狭山丘陵の利用目的として最も多かった意見は、「ハイキング、トレッキング、ランニング、サイクリングなどを楽しむ」でした。次いで、「かたくりの湯に行く」、「アスレチック遊具などで遊ぶ」が多く、ボランティア活動やイベント参加などの利用は少ないことが分かりました。



問32 道路の緑化について、あなたはどのように緑化された道路が増えてほしいと思いますか。

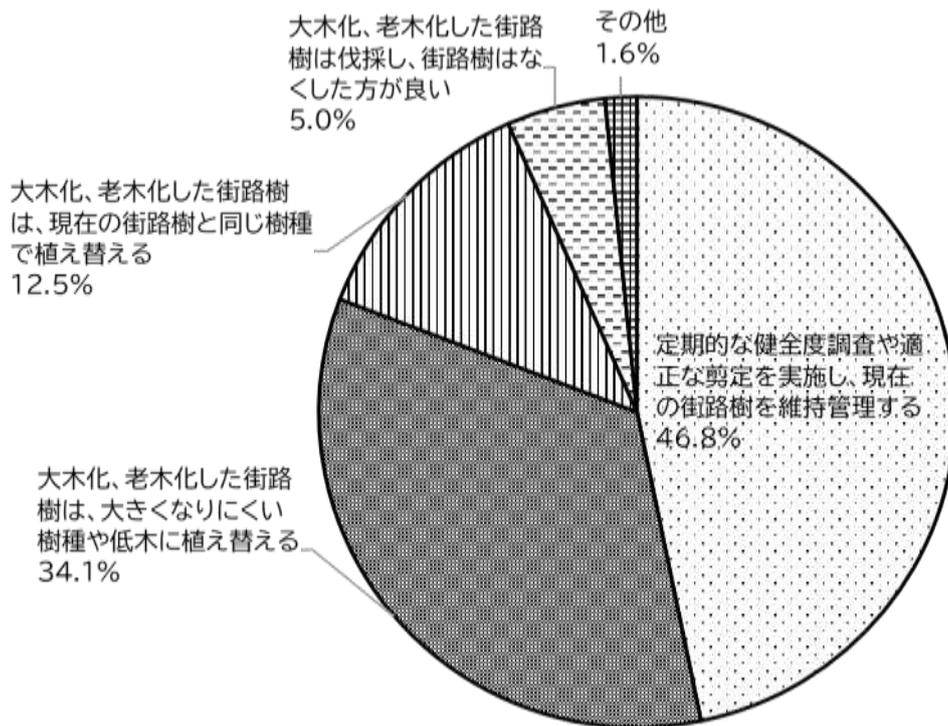
道路の緑化については、「ハナミズキなどの生長が遅く大木になりにくい街路樹のある道路」との回答が最も多く、全体の31.2%、「サクラやケヤキなど地域のシンボルとなる街路樹のある道路」との回答が31.1%でした。



回答	件数
ハナミズキなどの生長が遅く大木になりにくい街路樹のある道路	174
サクラやケヤキなど地域のシンボルとなる街路樹のある道路	173
単一の樹種による街路樹ではなく、複数の樹種を組合せた街路樹のある道路	114
ツツジなどの低木だけによる植栽のある道路	41
道路の利用上安全であれば街路樹は必要ない	36
その他	19
合計	557

問33 近年、台風等の強風による街路樹の倒木が問題となっています。市内の大木化、老木化した街路樹は、どのような管理方法が良いと思いますか。

大木化、老木化した街路樹の管理方法については、「定期的な健全度調査や適正な剪定を実施し、現在の街路樹を維持管理する」が最も多く、全体の46.8%でした。また、「大木化、老木化した街路樹は、大きくなりにくい樹種や低木に植え替える」が34.1%、「大木化、老木化した街路樹は、現在の街路樹と同じ樹種で植え替える」が12.5%、「大木化、老木化した街路樹は伐採し、街路樹はなくした方が良い」が5.0%、「その他」が1.6%でした。

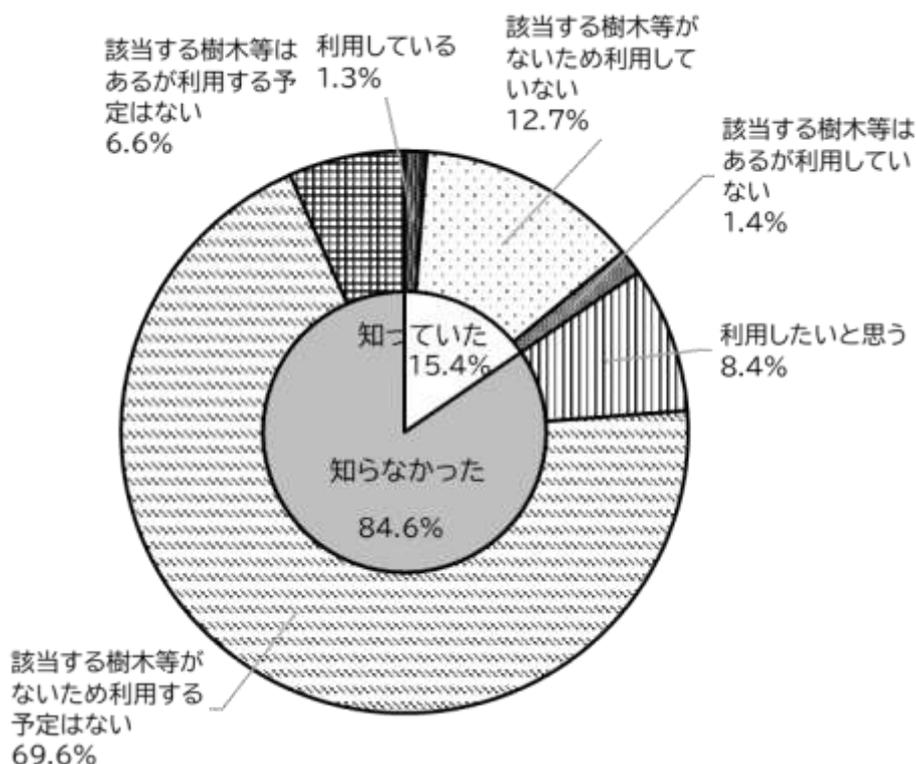


回答	件数
定期的な健全度調査や適正な剪定を実施し、現在の街路樹を維持管理する	261
大木化、老木化した街路樹は、大きくなりにくい樹種や低木に植え替える	190
大木化、老木化した街路樹は、現在の街路樹と同じ樹種で植え替える	70
大木化、老木化した街路樹は伐採し、街路樹はなくした方が良い	28
その他	9
合計	558

### 3-7 「みどり」に関する市の取組について

問34 武蔵村山市では民有地の「みどり」を保全するために、一定の規模以上の樹木、樹林、生け垣について、保存樹木等に指定し、その所有者等に奨励金を交付しています。あなたは、この制度を知っていましたか。

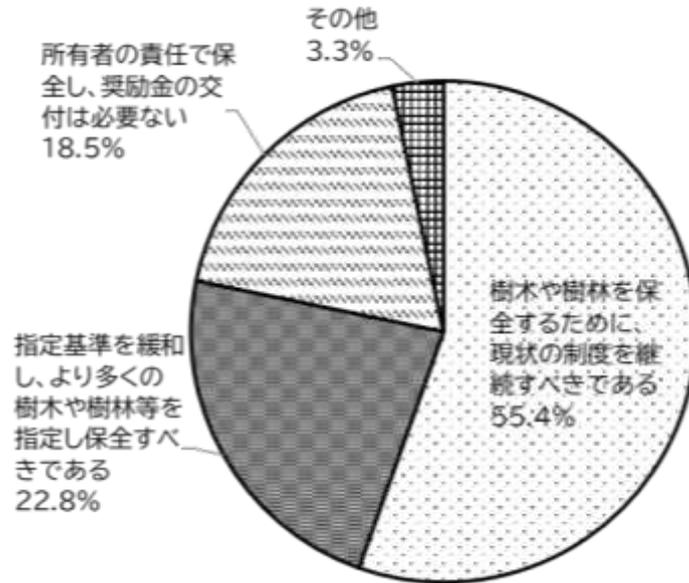
保存樹木等の奨励金については、「知らなかった」との回答が84.6%でした。また、知らなかった人のなかで「利用したいと思う」との回答は8.4%でした。多くの市民が制度について知らなかった一方で、今回のアンケートにより、制度を知り活用を検討するとの意見も一定数いることが分かりました。



		回答	件数
		利用している	7
		該当する樹木等がないため利用していない	71
		該当する樹木等はあるが利用していない	8
		利用したいと思う	47
		該当する樹木等がないため利用する予定はない	389
		該当する樹木等はあるが利用する予定はない	37
回答	件数		
知っている	86		
知らなかった	473		

### 問35 保存樹木等の奨励金制度について

奨励金制度については継続すべきとの回答が最も多く、全体の55.4%でした。また、より指定基準を緩和し枠を拡大したほうがよいとの回答は22.8%でした。奨励金制度が必要ないとの回答も一定数いましたが、多くの回答が保存樹木等の奨励金制度について肯定的な意見であることが分かりました。

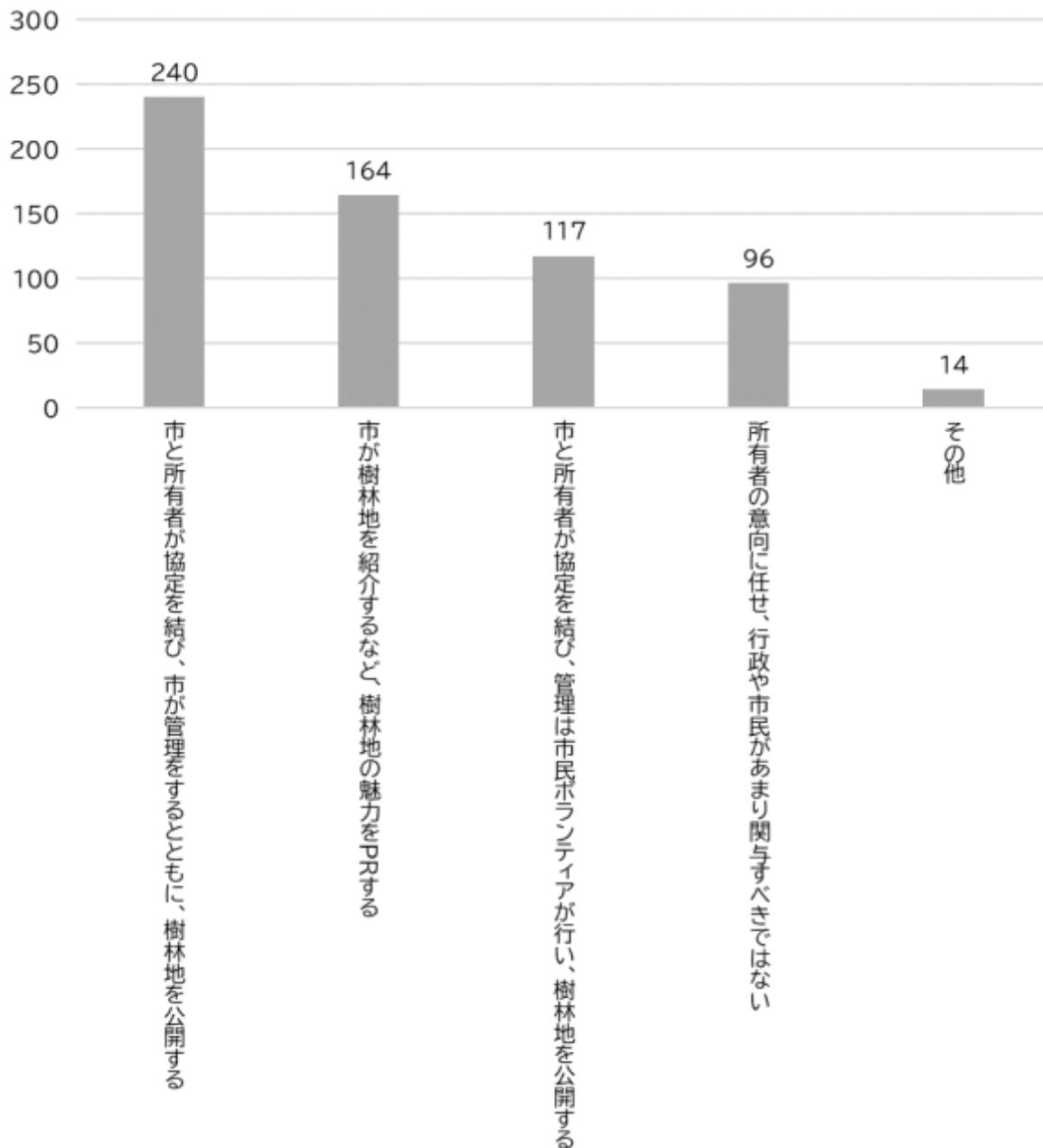


回答	件数
樹木や樹林を保全するために、現状の制度を継続すべきである	306
指定基準を緩和し、より多くの樹木や樹林等を指定し保全すべきである	126
所有者の責任で保全し、奨励金の交付は必要ない	102
その他	18
合計	552

問36 市内には個人や事業者等が所有する樹林地があります。このような民有地の樹林地を保全するための支援活動について、あなたはどのように考えますか。

(該当するものに全て選択式)

民有地の樹林地の保全に対する支援活動については、「市と所有者が協定を結び、市が管理をするとともに、樹林地を公開する」との回答が最も多く、次いで「市が樹林地を紹介するなど、樹林地の魅力をPRする」、「市と所有者が協定を結び、管理は市民ボランティアが行い、樹林地を公開する」でした。



### 3-8 自由意見

自由意見記入件数は151件でした。有効回答数572件に対して、自由意見の記入率は26.4%でした。一通の意見の中に複数の内容が書かれているものもあり、これらの類似内容を整理し分類すると以下のように21項目、189件となりました。

自由意見内容	件数
公園の質的改善要望	34
公園の管理、整備への苦情、提案	18
住みやすいまちづくり、歩きやすいまち、街並み、景観等について	17
みどりの苦情	15
緑化施策への要望、提案	14
道路(歩道、自転車道含む)の整備、緑化の苦情、提案	12
河川整備、清掃への苦情、提案	10
自然環境の保全、復元要望、みどりの重要性、必要性	8
個別の公園の苦情、提案	8
公園箇所数、量的増加要望	8
市民、ボランティアの参加協力の推進	6
農地のあり方について	6
税金、補助金の使い方	5
個別の公園の賞賛	5
大きな公園の要望	4
アンケートの目的等に対する疑問	4
マナーの欠如	3
モノレール、駅設置の推進	2
自然喪失、宅地化等に対する苦情、感想	1
日産村山跡地や湖南処理場の利用について	1
その他(分類不能)	8
合計	189

項目別意見を抽出しその要約を紹介すると以下のような意見がありました。紙面の関係上、各項目件数の2割程度とし、10件以上あった項目について原文に近い形で掲載しました。

項目別自由意見要約	
公園の質的な改善要望	
公園の手洗い場、トイレを綺麗な状態にしてほしいです。おむつ替えのスペースも欲しい。外出がなかなかできないので、せめて公園でキャンプやピクニックを楽しめるような環境が増えるといいなと思います。	30歳代
芝生のある公園やドッグランのある公園を作って欲しい。	40歳代
気持ちの良い自然があるのでキャンプ、バーベキューを有料で利用できるようにして欲しい。	40歳代
公園にバスケットゴールなどのスポーツ用具が増えるとうれしいです。	30歳代
高齢者が多くなることが予想されるのでベンチの適正管理とトイレの便器を和から洋に変えてもらいたい。	40歳代
子供たちがボールなどを使って遊べる公園を作ってほしいです。	60歳代
年々遊具が健康利用向けまたは幼児向けに変更されており、ボール遊びを禁じられている小学生は行き場を失っているように見受けられます。ボール遊びができる場所を設けること、中高生の迷惑行為を認めないこと、公園づくりにおいては市内小学生に遊具のリクエストやアンケートを募ることなど、やり方次第でもっとみどりに親しむ子供たちが増えると思います。	30歳代
小学生位までは遊べる公園が少なくボール禁止などの規則もあり結局家の前の道路で遊ぶこともあります。小さな誰も使わない形だけの公園よりそれなりの規模の公園を作って欲しいです。	40歳代
みどり、自然、公園など誰が来ても入りやすい公園、みどりが多い自然を作ってほしいと思います。	50歳代
夏場など水で遊べるような公園施設があると、子育て環境的にありがたい。	40歳代
公園の外側にある木が大きくなり、根が歩道に浮き出て凸凹していて危ないと思います。公園に駐車場があると便利です。ドッグランがあると嬉しい。	50歳代
市内の公園には樹木や草花の量が少なくポリウムにかけているところもある。ちょっと寂しいと感じる時がある。	70歳代
公園の管理、整備への苦情、提案	
公園などの樹木の剪定にはある程度木を知っている人が望ましい。剪定をお願いしたことがあるがいい加減にバツサリと切られたことがある。樹木や花を植えるのは良いことだと思うがその後の管理も大切だと思います。	60歳代
カラスの害によりツバメの巣がこわれて、以来ツバメは寄り付かなくなった。公園の木にカラスが巣を作って困る。	70歳代
汚いトイレが結構あるので改善してほしい。	30歳代
公園の防犯は見通しを良くするだけではなく防犯カメラの設置もしてもらいたい。	20歳代
子どもが砂遊びが好きでよく砂場で遊びますが、フンやガラスのかけらがあり遊びづらいです。	30歳代
近くの公園で子供を遊ばせたいが土日は野球チームがいつも利用しており全く	30歳代

遊ばせられない。一部の団体が公園を利用し一般市民が利用できないのは不公平を感じている。体育館に野球場もあるのに利用料金も払わずに一部団体が我が物顔で一日中過ごしているのはおかしい。	
公園の安全管理、清掃、防犯、安全パトロールの強化。公園は安全とのイメージ作り。	70歳代
公園のトイレの定期清掃。	40歳代
住みやすいまちづくり、歩きやすいまち、街並み、景観等について	
「友愛に満ちた市民の街」武蔵村山市。市民と行政が連携した、活性化したまちづくりを期待しています。	70歳代
モーター街の廃墟ならびサイクリングロードの景観の整備をお願いします。	60歳代
以前は狭山丘陵のあちこちに廃棄物がありましたが、市の努力により見かけなくなりました。捨てさせないと言う啓蒙とこの状態の維持をお願いしたいです。	70歳代
みどりの多い街並みを維持していてもらいたい。	60歳代
みどりは量を重視するのではなく、防犯などの質を考慮する必要がある。	60歳代
みどりの苦情	
ただ生えているだけの木やツルが景観を損ねている。高齢で管理できない人が近所にもいる。見回りして声かけをしてほしい。虫が多く発生し過ぎているし、火事等にあったときに被害が大きくなりそうで怖い。家にツルが張り巡らされている。	30歳代
夏場になると公園、学校の校庭の雑草の管理が悪いと思う。公園は雑草が増えてしまい遊べるスペースがなくなっている。	30歳代
街路樹も然りだがその付近の雑草がすごいことになっているのをよく見る。	40歳代
適切に管理されていないみどりが多く存在する。もともと狭い歩道にはみ出している垣根、車が側道から出るときに視界を遮る街路樹、狭い歩道に植えられている低木の街路樹、秋になると落葉が汚い木など自然、みどりとの共生は適切な管理と共にこそあると思う。	60歳代
個人宅の所有樹木が道路にせり出し歩道にだいぶはみ出しているところがある。車がくるとかなり危険。白線ギリギリまで木の枝が茂っているため車を避けようと白線の内側へ寄ると木に突っ込むことになってしまう。	30歳代
緑化施策への要望、提案	
高齢化に伴い自宅のみどりを管理できない家が増加している。市がそのような家に対して支援を行っていく。	60歳代
みどりは貴重な資源です。適切に管理保全することが重要です。行政に期待しています。	70歳代
市民体育館があるみどりの場所も、スポーツ施設をもっと整備してみどりと一体感のある競技施設を作ったら他の市区町村からの集客もできると思います。みどりを活用して武蔵村山市をもっとアピールしてもいいと思います。	60歳代
道路(歩道、自転車道含む)の整備、緑化の苦情、提案	
枯れた枝が上から落ちてきそうなどところがあるので少し怖いです。	30歳代
桜並木沿いに住んでいます。一年中桜の花びらや落ち葉、害虫に悩まされています。害虫は網戸をしても家に入ってくるので窓を開けづらく換気もあまりできません。害虫駆除の薬を定期的に散布してほしいです。	40歳代

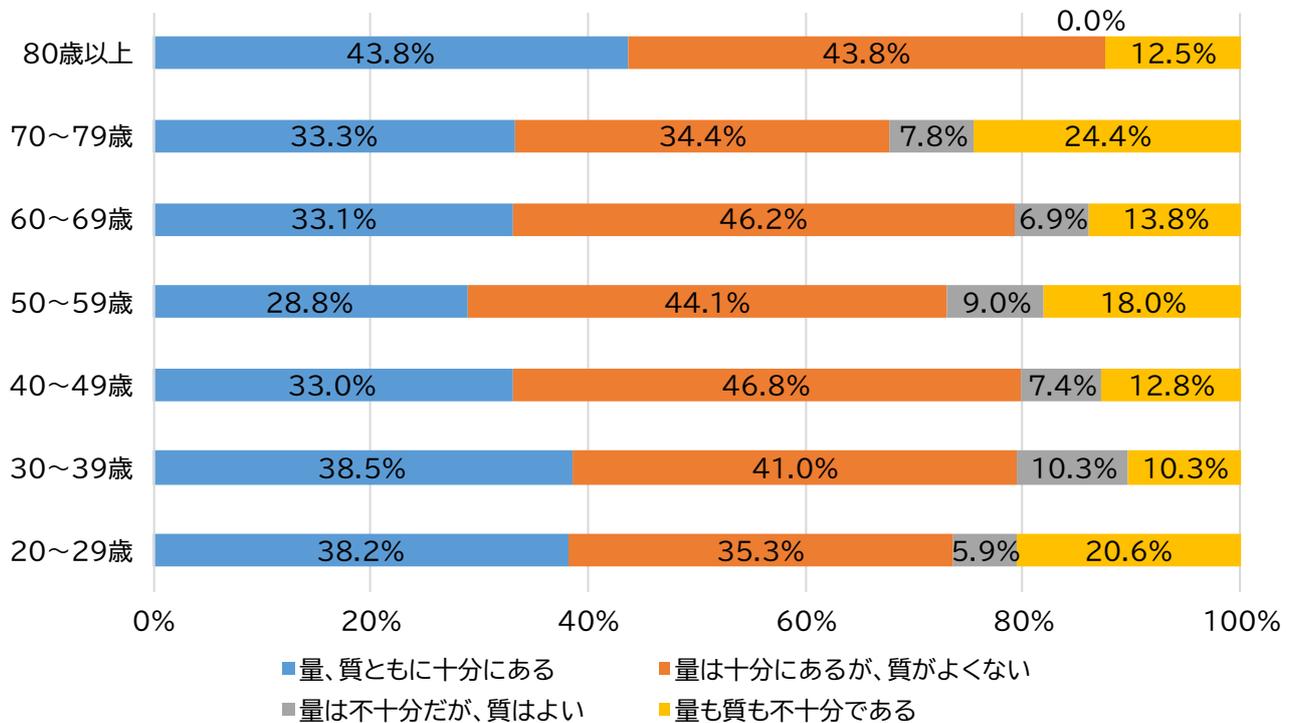
樹木の高さを考えないと交通の妨げになっている道もある。樹木も大切だが、住宅地の道路整備や道幅を広げてほしい。	50歳代
歩道の雑草が伸びて歩ける場所が狭まり自転車等すれ違うとき危険である。そういう面のみどりの管理ももう少し気にかけてもらえるとうれしいです。	20歳代
道路の草取りをもっと早くやってほしい。残堀川の木が大きくなって道路を持ち上げて歩きにくい。	70歳代
道路沿いの生垣などがほったらかしになっていてせつかくの歩道が半分は植栽に覆われていて人とすれ違うのも大変なことが多いです。もっと手入れをこまめにやってほしい。	60歳代
河川整備、清掃への苦情、提案	
残堀川の流れの回復。水量の増加。浸み込み地層部分におけるU字溝の埋め込み。残堀川河川敷の雑草対策。羊の放し飼い。	60歳代
家の近くに残堀川が流れているが、昔は川に入ったりザリガニを探したり子供たちの遊び場になっていたが、近年は草が生い茂っており触れ合いたいと思う場所ではなくなってしまった。公園に夜行く機会が多いが街灯が2つしかない。やや暗い(他人の顔など認識できない)と感じ不安になることがあります。	30歳代
残堀川の整備(草木がかなり育っていて流れを妨げていると思う)大雨の時に心配。	60歳代
残堀川の清流化への整備。瑞穂町と協力し推進してほしい。	70歳代
川があるなら市民の観光自慢になるような整備を望みます(桜や紅葉の花筏がその時期になると見れるようになるなど)虫などが生息するようになると市民、学校教育にも良いと思う。	50歳代

## 4 結果の分析(クロス集計)

### 4-1 武蔵村山市の「みどり」について

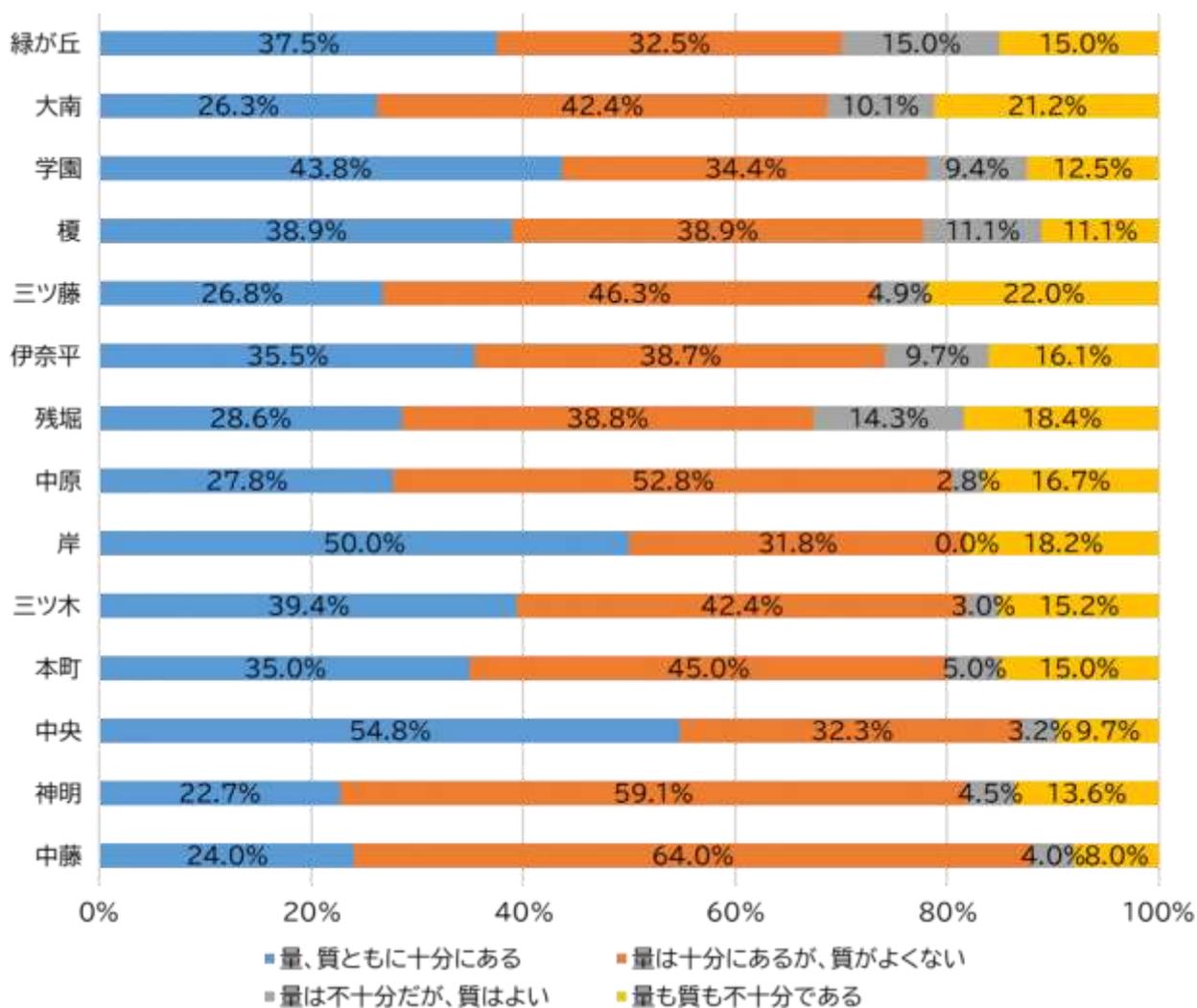
#### (1) 年齢別のみどりの量と質について

年齢別のみどりの量と質について顕著な違いは見られませんでした。20代～30代の比較的若い世代のほうがみどりの量、質が十分と考えていることが分かりました。



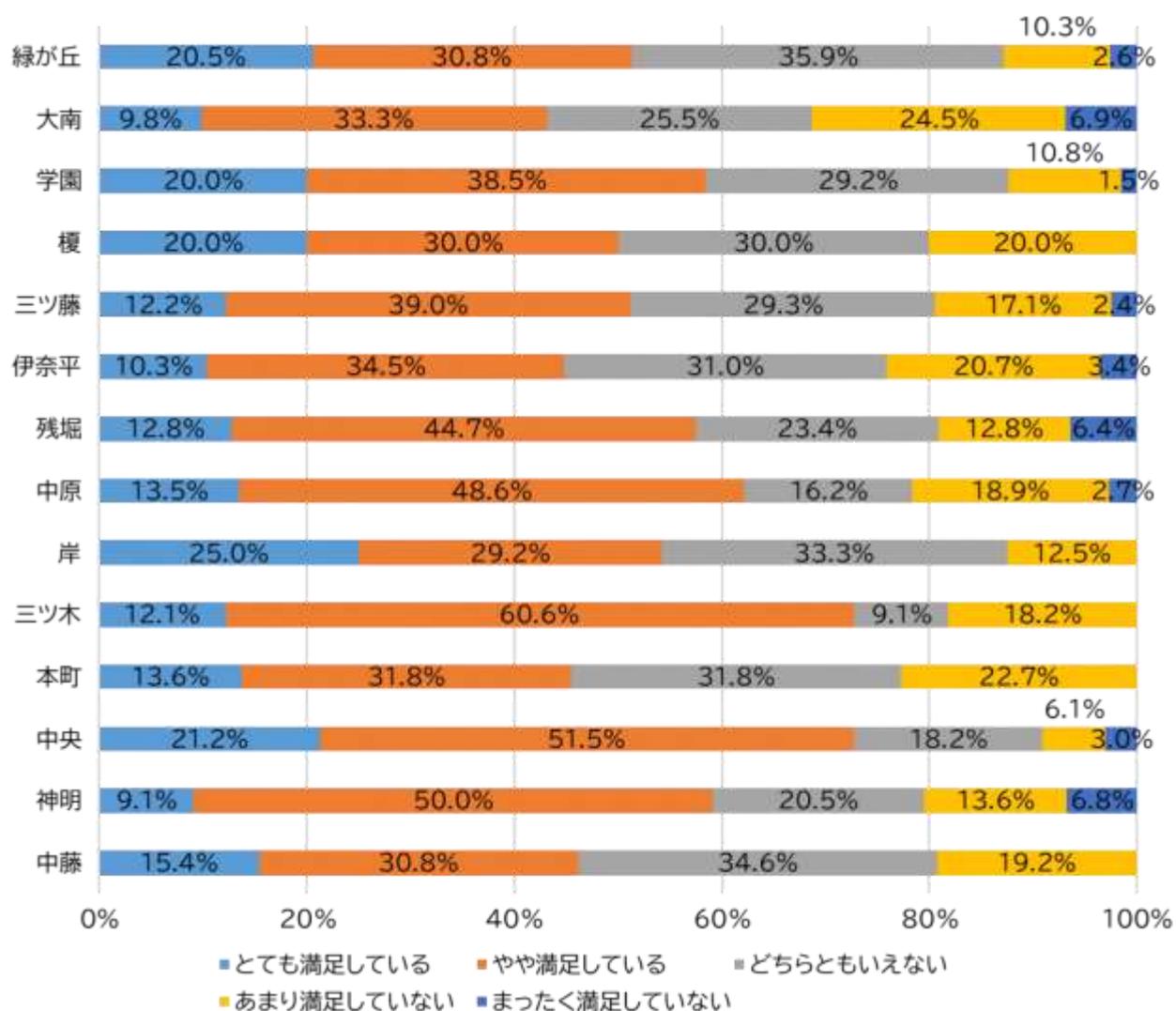
## (2) 地区別のみどりの量と質について

地区別のみどりの量と質については、中央地区・岸地区が「量・質ともに十分にある」との回答の割合が最も高く、どちらも半数を超える結果となりました。一方、神明地区、中藤地区は「量・質ともに十分にある」との回答の割合が最も低いです。一方、神明地区、中藤地区は「量は十分にあるが、質がよくない」との回答割合が最も高く、どちらも6割ほどでした。



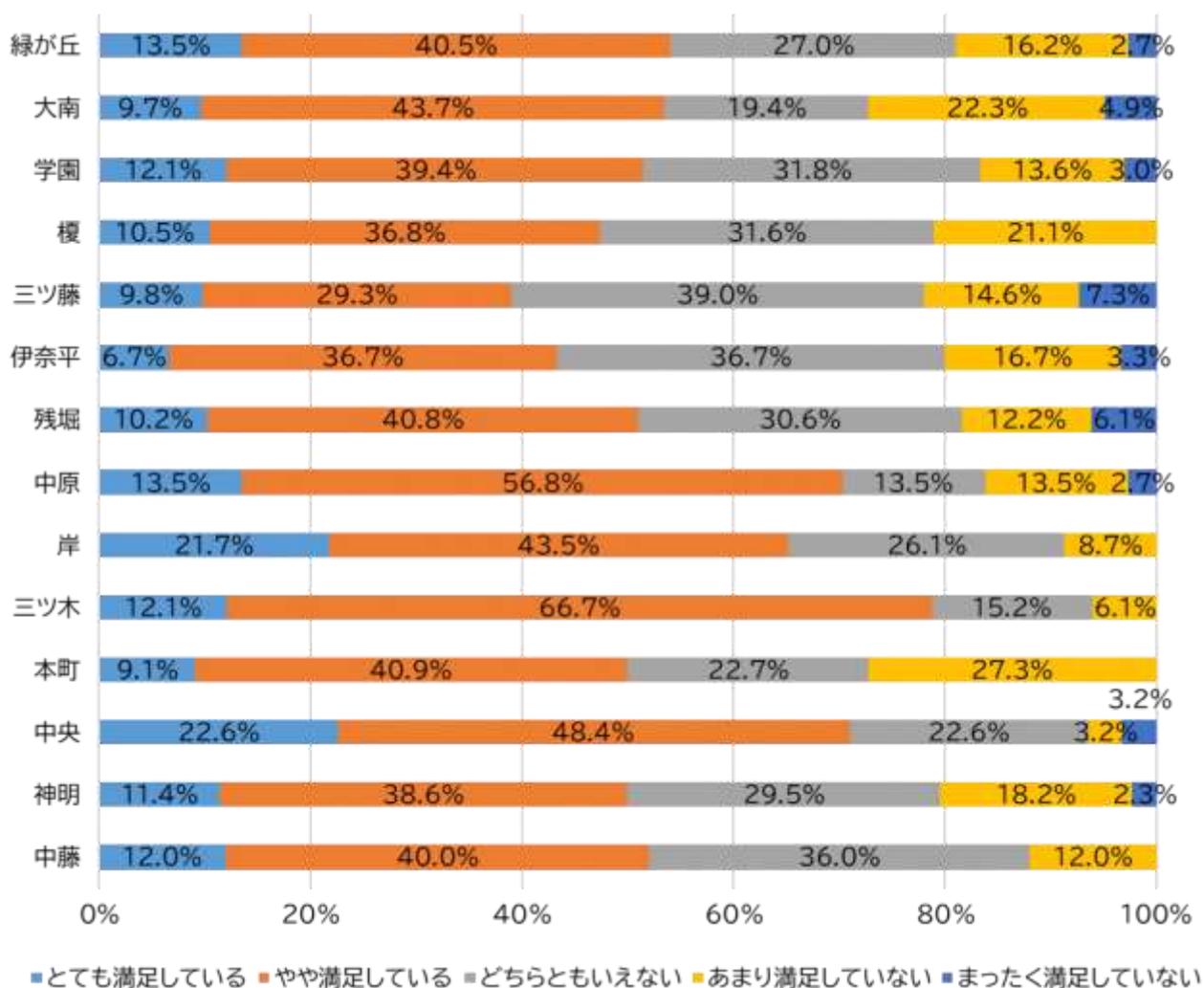
### (3) 地区別の武蔵村山市の「みどり」の満足度について

地区別の武蔵村山市の「みどり」の満足度について、「とても満足している」と「やや満足している」の割合を合計すると、三ツ木地区と中央地区が最も高く、共に72.7%の方が満足傾向であることが分かりました。一方、「あまり満足していない」と「まったく満足していない」の割合を合計すると、大南地区が最も高く、31.4%の方が不満傾向であることが分かりました。



#### (4) 地区別の身近な「みどり」の満足度について

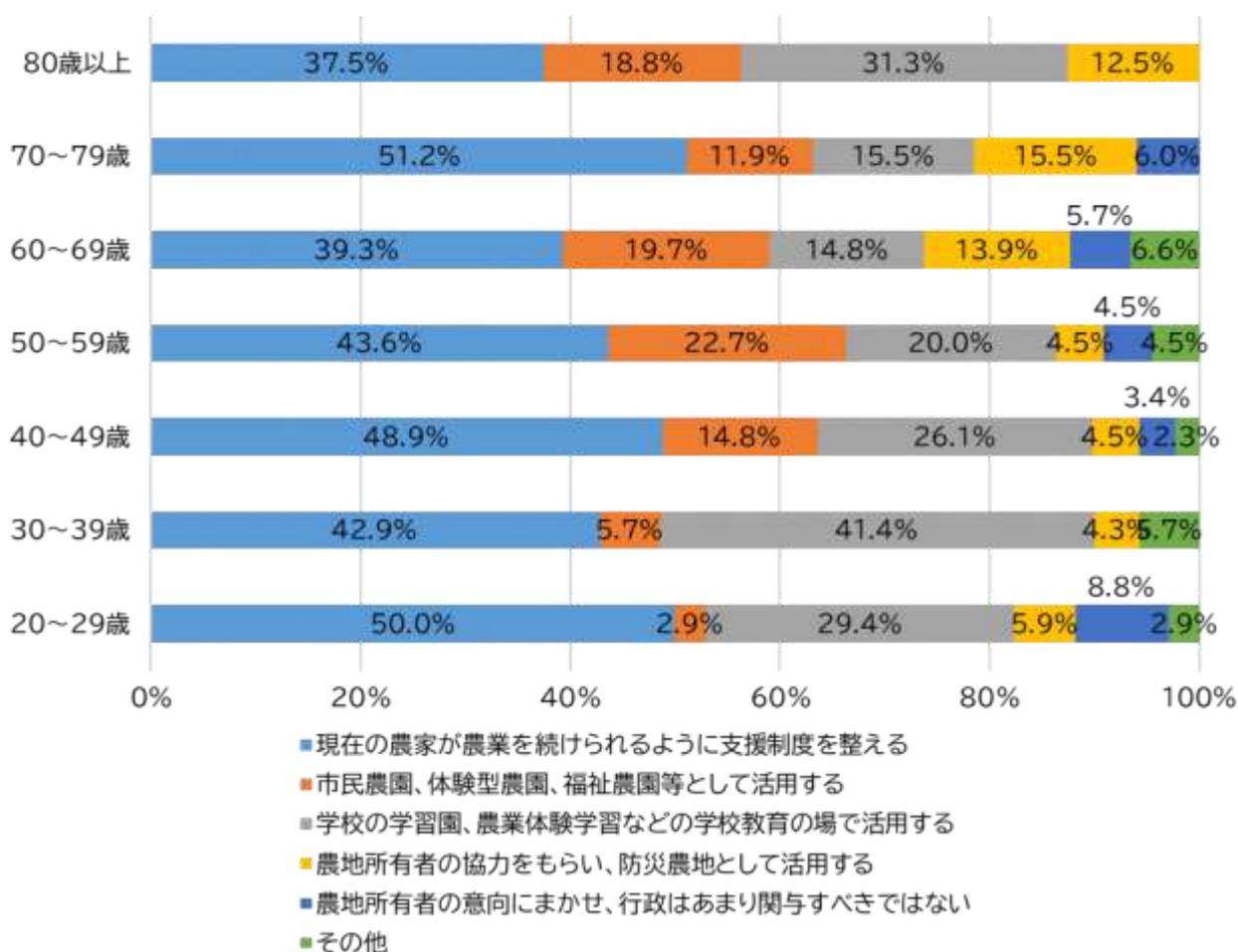
地区別の身近な「みどり」の満足度について、「とても満足している」と「やや満足している」の割合を合計すると、中央地区と三ツ木地区、中原地区が最も高く、7割以上の方が満足傾向であることが分かりました。一方、「あまり満足していない」と「まったく満足していない」の割合を合計すると、本町地区と大南地区が最も高く、共に27%以上の方が不満傾向であることが分かりました。



## 4-2 「農」とのかかわりについて

### (1) 年齢別の農地のあり方について

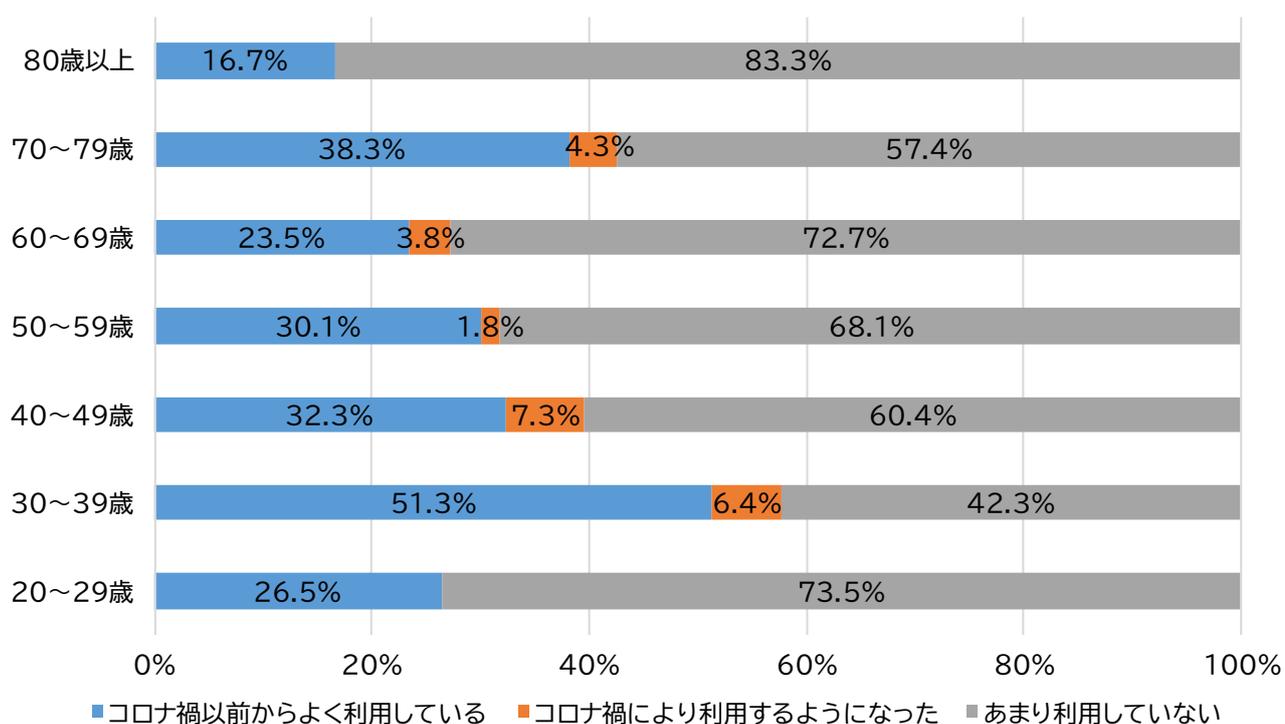
年齢別の農地のあり方について、市に取り組んで欲しいことはどの年代でも「現在の農家が農業を続けられるように支援制度を整える」と回答した割合が最も高いことが分かりました。20代～30代の子育て世代では「学校の学習園、農業体験学習などの学校教育の場で活用する」と回答した割合が高い一方で、「市民農園、体験型農園、福祉農園等として活用する」と回答した割合は低いことが分かりました。反対に60歳以上の回答では「市民農園、体験型農園、福祉農園等として活用する」と回答した割合が高いことに加え、「農地所有者の協力をもらい、防災農地として活用する」と回答した割合が高いことが分かりました。



### 4-3 「公園」とのかかわりについて

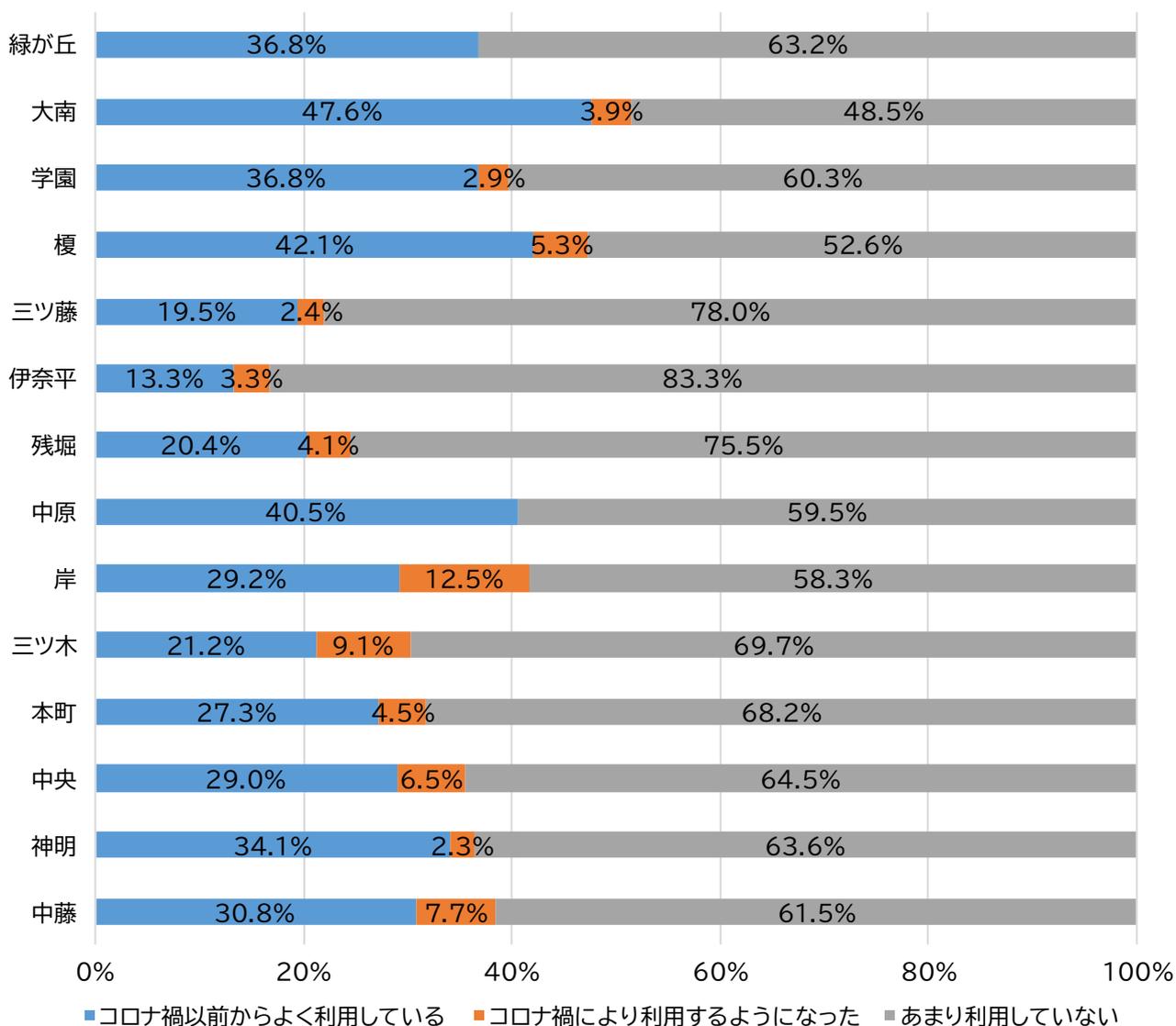
#### (1) 年齢別の公園利用頻度について

年齢別の公園利用頻度をみると、30代が最も公園を利用しているとの回答の割合が高く、「コロナ禍により利用するようになった」との回答と合わせると、約6割が公園を利用していることが分かりました。一方、80代は「あまり利用していない」との回答が最も高く83.3%でした。また、20代も「あまり利用していない」との回答が高く73.5%でした。



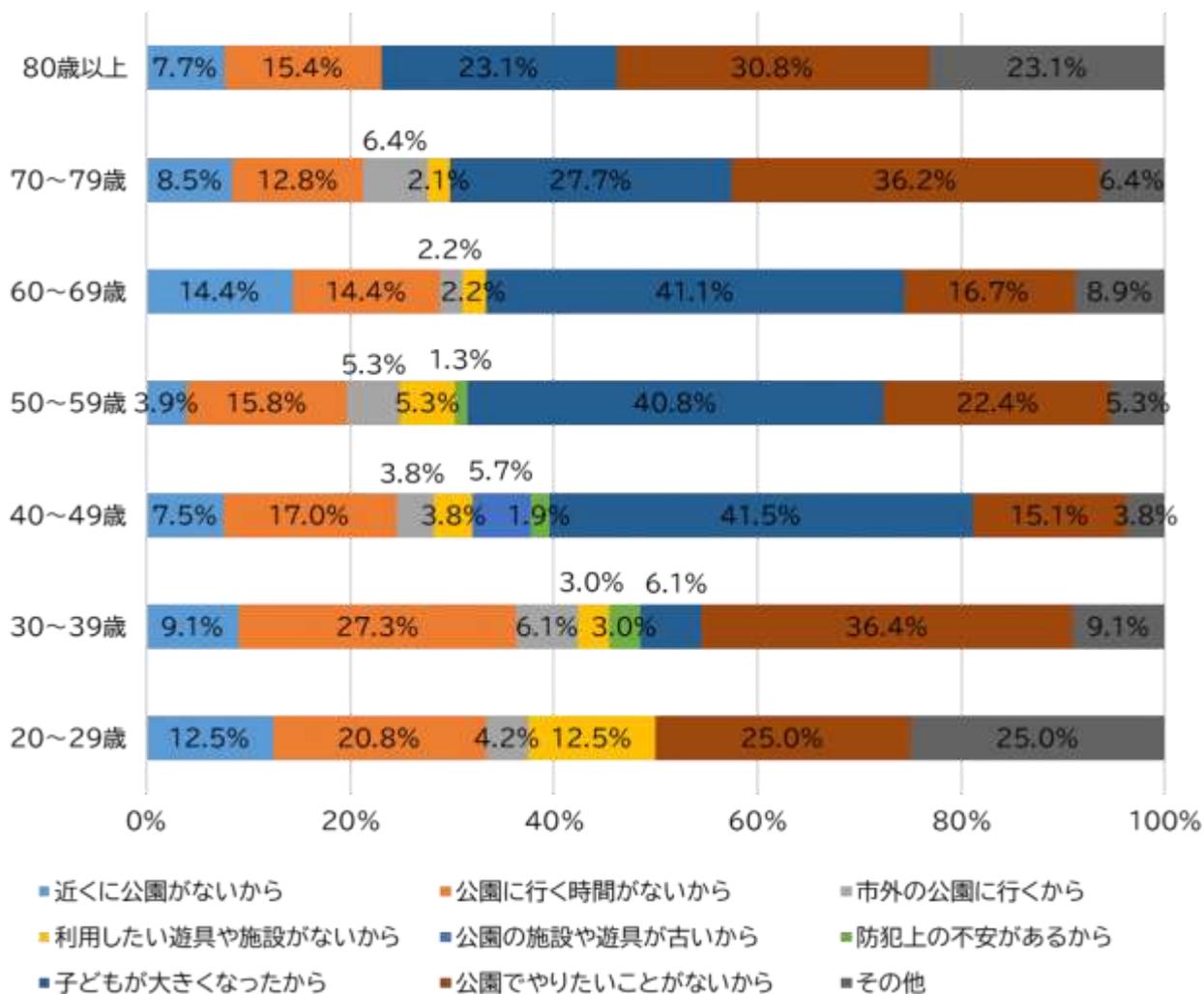
## (2) 地区別の公園利用頻度について

地区別の公園利用頻度をみると、大南地区と榎地区が最も公園を利用しており、「コロナ禍により利用するようになった」との回答と合わせると、約5割が公園を利用していることが分かりました。一方、伊奈平地区は「あまり利用していない」との回答が最も高く83.3%でした。



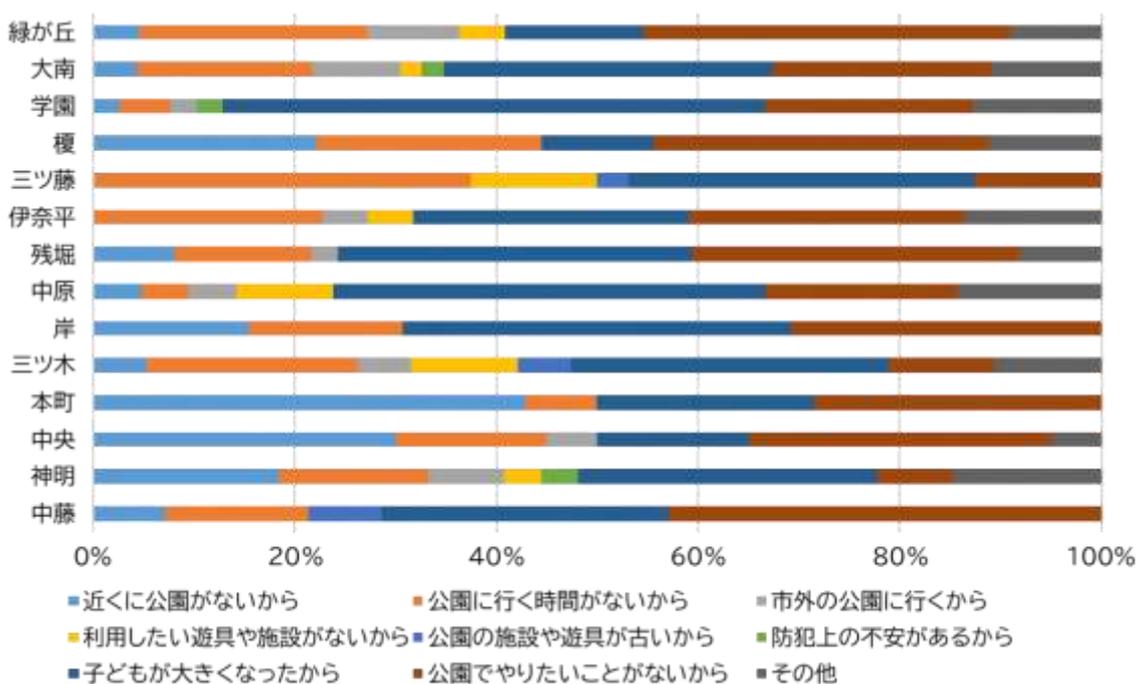
### (3) 年齢別の公園を利用しない理由について

年齢別の公園を利用しない理由をみると、20代～30代では「公園に行く時間がないから」との回答の割合が高いことが分かりました。また、40代～60代では「子どもが大きくなったから」との回答の割合が4割を超えていることが分かりました。



#### (4) 地区別の公園を利用しない理由について

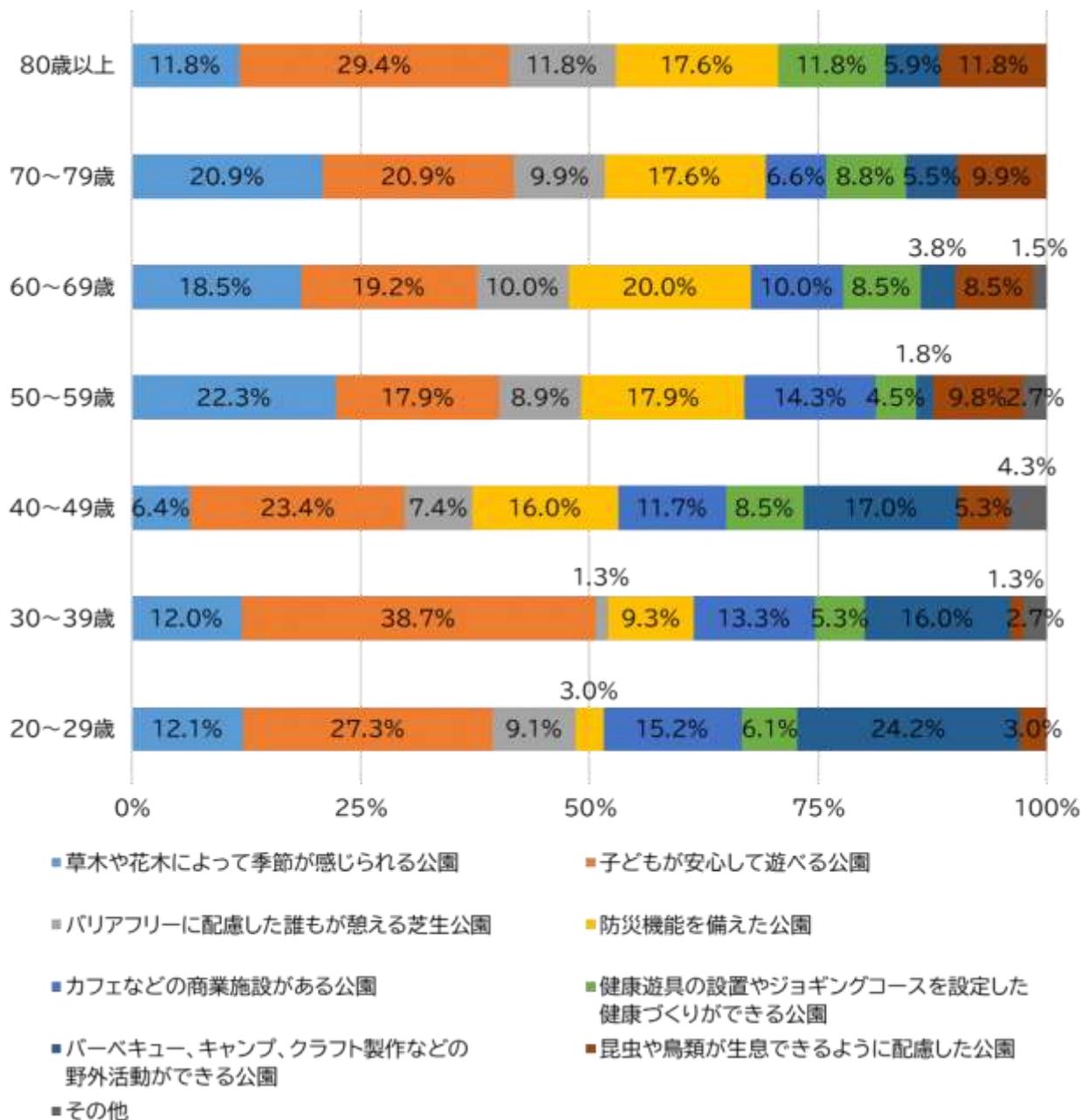
地区別の公園を利用しない理由をみると、中央地区、本町地区では他の地区と比べて、「近くに公園がないから」と回答した割合が高いことが分かりました。中藤地区では他の地区と比べて「利用したい遊具や施設がないから」との回答の割合が高く、「公園でやりたいことがないから」と回答した割合も高いことから、現状の公園機能がニーズに合っていないことが推察できます。また、学園地区では半数以上の回答が「子どもが大きくなったから」であり、公園の新たな利活用を検討する必要があると推察できます。



	近くに公園がないから	公園に行く時間がないから	市外の公園に行くから	利用したい遊具や施設がないから	公園の施設や遊具が古いから	防犯上の不安があるから	子どもが大きくなったから	公園でやりたいことがないから	その他
中藤	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	28.6%	42.9%	0.0%
神明	18.5%	14.8%	7.4%	3.7%	0.0%	3.7%	29.6%	7.4%	14.8%
中央	30.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	30.0%	5.0%
本町	42.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	28.6%	0.0%
三ツ木	5.3%	21.1%	5.3%	10.5%	5.3%	0.0%	31.6%	10.5%	10.5%
岸	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	30.8%	0.0%
中原	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%	0.0%	0.0%	42.9%	19.0%	14.3%
残堀	8.1%	13.5%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	35.1%	32.4%	8.1%
伊奈平	0.0%	22.7%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%	13.6%
三ツ藤	0.0%	37.5%	0.0%	12.5%	3.1%	0.0%	34.4%	12.5%	0.0%
榎	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%
学園	2.6%	5.1%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	53.8%	20.5%	12.8%
大南	4.3%	17.4%	8.7%	2.2%	0.0%	2.2%	32.6%	21.7%	10.9%
緑が丘	4.5%	22.7%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	13.6%	36.4%	9.1%

### (5) 年齢別の新規の公園に対する市民のニーズについて

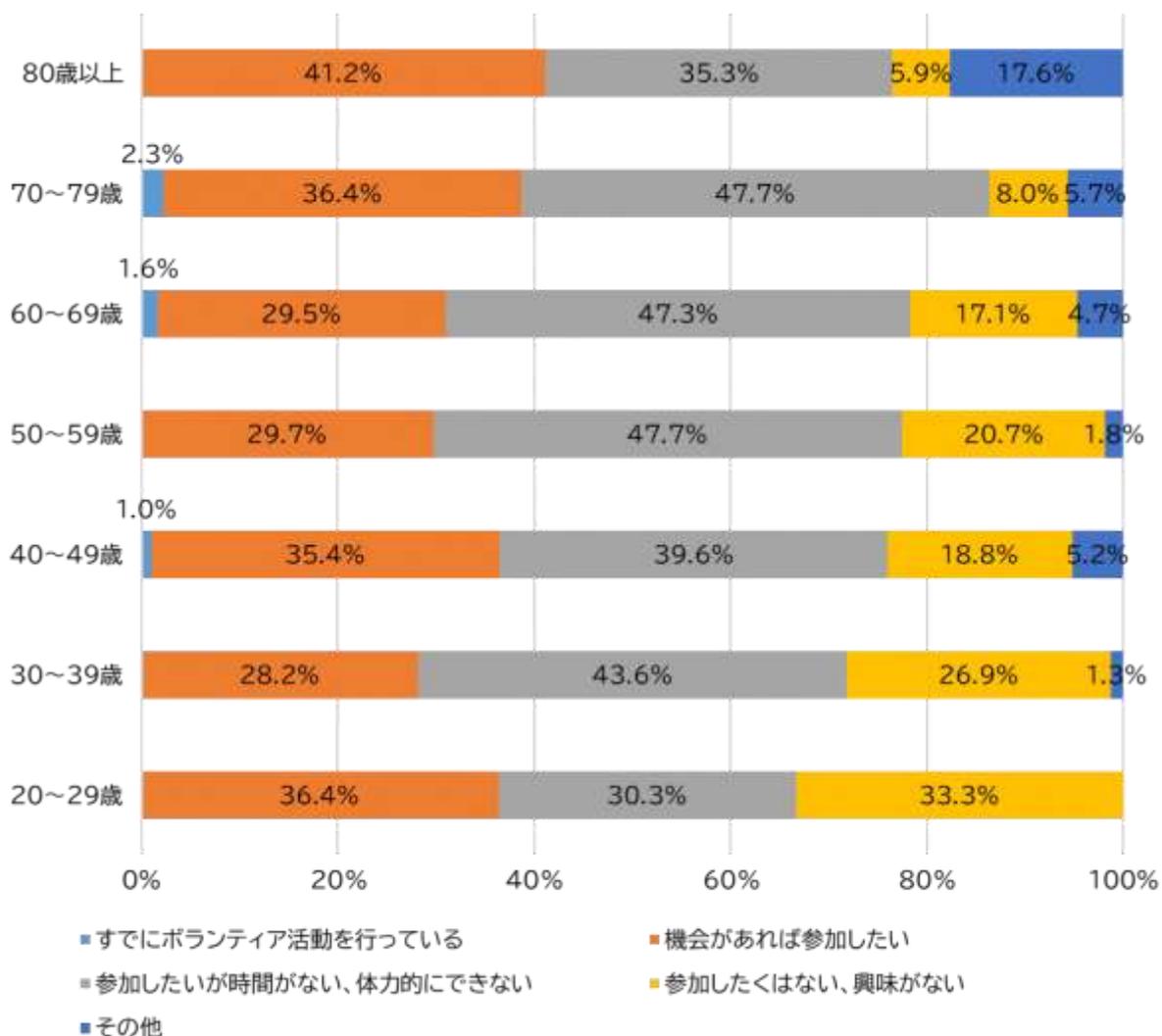
年齢別の新規の公園に対する市民のニーズをみると、20代では他の年代と比べて、「バーベキュー、キャンプ、クラフト製作などの野外活動ができる公園」との回答の割合が高いことが分かりました。30代では他の年代と比べて、「子どもが安心して遊べる公園」と回答の割合が高いことが分かりました。また、年代が高くなるにつれ、「防災機能を備えた公園」、「健康遊具の設置やジョギングコースを設定した健康づくりができる公園」、「昆虫や鳥類が生息できるように配慮した公園」との回答の割合が高くなり、年代が低くなるにつれ、「カフェなどの商業施設がある公園」との回答の割合が高くなることが分かりました。



## (6) 年齢別のボランティア活動への参加について

年齢別のボランティア活動への参加については、年代が低くなるにつれ、「参加したくない、興味がない」との回答の割合が高くなることが分かりました。また、20代～30代では、「すでにボランティア活動を行っている」と回答した方がいませんでした。

50代～70代では、他の年代と比べて「参加したいが時間がない、体力的にできない」との回答の割合が高いことが分かりました。





日ごろから、市政運営にご理解とご協力をたまわり、厚くお礼申し上げます。

武蔵村山市は、北部に希少な動植物が生息する狭山丘陵を擁し、東西を一級河川の残堀川と空堀川が流れる、自然豊かなみどりあふれる市です。本市では、この豊かなみどりを次世代に引き継ぐため、具体的なみどりの施策をまとめた「武蔵村山市みどりの基本計画」を10年ごとに見直し、各取り組みの実現に努めています。

この度、「武蔵村山市第三次みどりの基本計画」（令和5年度～14年度）を策定するにあたり、市民の皆様の声をお聞きするために、アンケート調査を実施することにいたしました。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。お手数をおかけしますが、本調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年10月  
武蔵村山市 協働推進部 環境課



- ・アンケートは全部で36問あります。
- ・アンケートの回答は、右図にあるQRコードからも回答が可能です。アンケート用紙にてご回答の方は、同封の返信用封筒（切手は不要）にて郵便ポストに投函してください。住所・名前はお書きにならないで結構です。
- ・回答期限は **11月19日(金)**までです。
- ・回答項目のうち、あてはまると思われるものの番号に○を付けてください。○の数は、質問により「1つ選んで」「3つ選んで」などと回答数を指定しておりますのでご注意ください。
- ・「その他」にあてはまる場合は、( ) 内にその内容を具体的にお書きください。
- ・本アンケートの集計作業は、「国際航業株式会社」に委託しております。作業の効率等を考慮し、アンケート返信先を委託先としておりますが、ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。



【問い合わせ先】	
○内容に関すること	武蔵村山市 協働推進部 環境課 木村、中島 電話：042（565）1111（内線262）
○回答に関すること	国際航業株式会社 地域マネジメント部 谷口、福壽 電話：042（307）7699

**あなたご自身のことについておたずねします。**

問1 あなたの年齢について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1 20～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳
4 50～59歳	5 60～69歳	6 70～79歳
7 80歳以上		

問2 あなたのお住いの地区の番号を1つ選んで○をつけてください。また、「何丁目」にお住まいか、下の欄に数字で記入してください。

1 中藤	2 神明	3 中央	4 本町	5 三ツ木
6 岸	7 中原	8 残堀	9 伊奈平	10 三ツ藤
11 榎	12 学園	13 大南	14 緑が丘	
お住まいの丁目		_____ 丁目 (緑が丘を除く)		

問3 あなたは武蔵村山市に住んで何年になりますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1 2年未満	2 2年以上5年未満	3 5年以上10年未満
4 10年以上20年未満	5 20年以上30年未満	6 30年以上

問4 あなたの現在のお住いについて、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1 一戸建て(持ち家)	2 一戸建て(賃貸)
3 集合住宅(持ち家)	4 集合住宅(賃貸)
5 社宅、官舎、寮	6 その他( )

問5 同居されているご家族について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1 一人暮らし	2 夫婦のみ
3 小学生までの子どもがいる(三世代世帯を含む)	
4 中学生以上の子どもがいる(三世代世帯を含む)	
5 その他( )	

問6 あなたの職業について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1 会社員、公務員、団体職員など	2 自営業、自由業
3 農業	4 パート、派遣社員、アルバイトなど
5 家事専業(主婦・主夫)	6 学生
7 無職(年金生活者を含む)	8 その他( )

**武蔵村山市の「みどり」についておたずねします。**

本調査の「みどり」とは、樹木などの植物、樹林地や草地などの植物が生育する土地、公園・広場、河川、農地、学校・庁舎の植栽地、街路樹、住宅・事業所・商業施設の植栽地などの空間とします。

また「みどり」は、気温の緩和、いきものの生育の場、延焼の防止、災害時の避難場所、日常生活へのうるおい、美しい景観の形成、レクリエーションの場などの多くの機能を持っています。

問7 「みどり」には様々な機能がありますが、あなたが日常生活の中で感じるものはありますか。次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1 気温の上昇の緩和     | 2 大気汚染の改善          |
| 3 生きものの生息の場    | 4 災害時の避難場所の提供      |
| 5 雨水の吸収・洪水の予防  | 6 落ち着きや風格のある景観の形成  |
| 7 季節の変化の実感     | 8 地域の歴史や文化の実感      |
| 9 スポーツや健康づくりの場 | 10 子どもの遊び場         |
| 11 休息や憩いの場     | 12 地域活動・ボランティア活動の場 |
| 13 自然とのふれあいの場  | 14 環境学習の場          |
| 15 農作物の栽培や収穫   | 16 特になし            |
| 17 その他（        | ）                  |

問8 あなたは武蔵村山市の「みどり」に、どのようなことを期待しますか。次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1 気温の上昇の緩和     | 2 大気汚染の改善          |
| 3 生きものの生息の場    | 4 災害時の避難場所の提供      |
| 5 雨水の吸収・洪水の予防  | 6 落ち着きや風格のある景観の形成  |
| 7 季節の変化の実感     | 8 地域の歴史や文化の実感      |
| 9 スポーツや健康づくりの場 | 10 子どもの遊び場         |
| 11 休息や憩いの場     | 12 地域活動・ボランティア活動の場 |
| 13 自然とのふれあいの場  | 14 環境学習の場          |
| 15 農作物の栽培や収穫   | 16 特になし            |
| 17 その他（        | ）                  |

- 問9 問7、問8の選択肢にある様々な「みどり」の機能のことを“みどりの質”と表現し、「みどり」の機能が十分に発揮された状態を“質の高いみどり”といます。あなたは、武蔵村山市の「みどり」の量と質について、どのように感じますか。  
次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 量、質ともに十分にある  | 2 量は十分にあるが、質が良くない |
| 3 量は不十分だが、質は良い | 4 量も質も不十分である      |

- 問10 武蔵村山市の「みどり」について、次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |               |   |      |
|---------------|---|------|
| 1 とても満足している   | } | 問11へ |
| 2 やや満足している    |   |      |
| 3 どちらともいえない   | } | 問12へ |
| 4 あまり満足していない  |   |      |
| 5 まったく満足していない |   |      |

- 問11 問10で「1とても満足している」または「2やや満足している」とお答えの方におたずねします。あなたが武蔵村山市の「みどり」で満足している点はなんですか。  
次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 狭山丘陵などの豊かな自然があるから   |
| 2 身近なところに公園があるから      |
| 3 学校や公共施設に「みどり」が多いから  |
| 4 身近なところに農地が多いから      |
| 5 街路樹が整備されているから       |
| 6 残堀川や空堀川の自然があるから     |
| 7 社寺林や屋敷林などの樹林地が多いから  |
| 8 住宅地の庭や生垣の「みどり」が多いから |
| 9 その他 ( )             |

問12 問10で「4あまり満足していない」または「5まったく満足していない」とお答えの方におたずねします。あなたが武蔵村山市の「みどり」で満足していない点はなんですか。次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 1 狭山丘陵しか豊かな自然がないから     |  |
| 2 身近なところに公園がないから       |  |
| 3 学校や公共施設に「みどり」が少ないから  |  |
| 4 身近なところに農地が少ないから      |  |
| 5 街路樹が整備されていないから       |  |
| 6 残堀川や空堀川の自然がとほしいから    |  |
| 7 社寺林や屋敷林などの樹林地が少ないから  |  |
| 8 住宅地の庭や生垣の「みどり」が少ないから |  |
| 9 その他 ( )              |  |

問13 あなたがお住いの地域の「みどり」について、次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |               |   |      |
|---------------|---|------|
| 1 とても満足している   | } | 問14へ |
| 2 やや満足している    |   |      |
| 3 どちらともいえない   |   |      |
| 4 あまり満足していない  | } | 問15へ |
| 5 まったく満足していない |   |      |

問14 問13で「1とても満足している」または「2やや満足している」とお答えの方におたずねします。あなたがお住いの地域の「みどり」で満足している点はなんですか。次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 1 庭木、公園、街路樹などの「みどり」が多いから            |  |
| 2 昆虫や鳥などの生物が多いから                    |  |
| 3 庭木の樹木や生垣がきれいな状態で管理されたものが多く景観が良いから |  |
| 4 地域住民が落ち葉などの清掃をしているから              |  |
| 5 街路樹や道路の植込みがきれいに管理されているから          |  |
| 6 公園の樹木や植込み、花壇などがきれいに管理されているから      |  |
| 7 「みどり」が多く、日常的に「みどり」にふれることができるから    |  |
| 8 その他 ( )                           |  |

問15 問13で「4あまり満足していない」または「5まったく満足していない」とお答えの方におたずねします。あなたがお住いの地域の「みどり」で満足していない点はなんですか。次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- 1 庭木、公園、街路樹などの「みどり」が少ないから
- 2 病虫害が発生したり、鳥の鳴き声がうるさいから
- 3 庭木の樹木や生垣が管理されていない箇所が多く景観が悪いから
- 4 道路に落ち葉が散乱しており汚いから
- 5 道路の植込みにゴミが捨てられているなど管理が悪いから
- 6 公園の樹木が茂り防犯上問題があるから
- 7 「みどり」が少なく、ほとんど「みどり」にふれることができないから
- 8 その他（ )

**「みどり」とのかかわりについておたずねします。**

問16 日常の生活で、あなたはどのように「みどり」とかかわっていますか。次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- 1 自宅で植物を育てる（庭木、生け垣、鉢植え、プランターなど）
- 2 公園や緑地などで自然観察をする
- 3 花見や紅葉狩りなどに出かける
- 4 身近な庭木や公園などの景色を楽しむ
- 5 健康づくり、気分転換などのために公園で散歩やジョギングをする
- 6 道路、公園などの清掃をする
- 7 「みどり」に関する基金などに募金する
- 8 「みどり」に関するイベントや講座に参加する
- 9 「みどり」に関するボランティア活動に参加する
- 10 「みどり」へのかかわりはない
- 11 その他（ )

問17 今後、あなたはどのように「みどり」とかかわっていきたいですか。  
次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- 1 自宅で植物を育てる（庭木、生け垣、鉢植え、プランターなど）
- 2 公園や緑地などで自然観察をする
- 3 花見や紅葉狩りなどに出かける
- 4 身近な庭木や公園などの景色を楽しむ
- 5 健康づくり、気分転換などのために公園で散歩やジョギングをする
- 6 道路、公園などの清掃をする
- 7 「みどり」に関する基金などに募金する
- 8 「みどり」に関するイベントや講座に参加する
- 9 「みどり」に関するボランティア活動に参加する
- 10 「みどり」へのかかわりはない
- 11 その他（ )

問18 あなたが「みどり」にかかわるために、市に支援してほしいことはありますか。  
次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- 1 植栽管理のための道具の貸し出し
- 2 苗木や種などの無料配布
- 3 市内の「みどり」に関する情報提供
- 4 「みどり」に関する活動場所の提供
- 5 「みどり」に関する講座の開催
- 6 「みどり」に関する相談窓口の設置
- 7 活動参加への紹介・仲介
- 8 植栽管理のための資金援助
- 9 SNSなどを活用した「みどり」に関する情報ネットワークの提供
- 10 市の支援は必要ない
- 11 「みどり」にはかかわりたくはない
- 12 その他（ )

問19 あなたは、今までに「みどり」の保全や管理作業などに参加したことがありますか。  
次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことはない

**「農」とのかかわりについておたずねします。**

都市にある農地は、新鮮な農作物を供給するほかに、地震時の避難場所などの防災空間としての役割、雨水の保水などの環境の保全、良好な景観形成、農業体験や学習の場、生産者と都市住民の交流の場などの多くの役割があります。本調査ではこのような役割を「農」と表現しています。

問20 市内には多くの農地がありますが、日常生活であなたはどのように「農」とかかわっていますか。

次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1 地元でとれた野菜を買う     | 2 家庭菜園で野菜を栽培する |
| 3 市民農園で野菜を栽培する    | 4 体験型農園で農作業をする |
| 5 農業体験イベントに参加する   | 6 農業祭に参加する     |
| 7 援農ボランティアとして活動する | 8 農へのかかわりはない   |
| 9 その他（            | ）              |

問21 市内の農地のあり方について、あなたは市がどのようなことに積極的に取り組んでほしいと思いますか。

次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1 現在の農家が農業を続けられるように支援制度を整える    |   |
| 2 市民農園、体験型農園、福祉農園等として活用する      |   |
| 3 学校の学習園、農業体験学習などの学校教育の場で活用する  |   |
| 4 農地所有者の協力をもらい、防災農地として活用する     |   |
| 5 農地所有者の意向にまかせ、行政はあまり関与すべきではない |   |
| 6 その他（                         | ） |

**「公園」とのかかわりについておたずねします。**

問22 コロナ禍で生活様式が大きく変わり、公園の価値が見直されるようになってきました。市内には大南公園や雷塚公園などの約70箇所の公園がありますが、あなたは日常生活で、公園を利用していますか。

次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |                     |   |      |
|---------------------|---|------|
| 1 コロナ禍以前からよく利用している  | } | 問24へ |
| 2 コロナ禍により利用するようになった |   |      |
| 3 あまり利用していない        | → | 問23へ |

問23 問22で「3あまり利用していない」とお答えの方におたずねします。あなたが公園を利用しない主な理由はなんですか。

次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1 近くに公園がないから    | 2 公園に行く時間がないから    |
| 3 市外の公園に行くから    | 4 利用したい遊具や施設がないから |
| 5 公園の施設や遊具が古いから | 6 防犯上の不安があるから     |
| 7 子どもが大きくなったから  | 8 公園でやりたいことがないから  |
| 9 その他（          | ）                 |

問24 「もっと利用したい」と思える公園にするには、どのようなことが必要だと思いますか。

次の中からあてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

- |                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1 植栽を適切に管理する                          | 2 樹木や花壇を増やし景観をよくする |
| 3 老朽化した遊具などの施設を改修する                   | 4 利用したくなる遊具や施設を増やす |
| 5 段差を減らしバリアフリーにする                     | 6 公園利用の制限を減らす      |
| 7 見通しを良くし、うす暗いなどの防犯上の問題を改善する          |                    |
| 8 健康遊具やジョギングコースを設定するなど健康づくりに配慮する      |                    |
| 9 ごみがない、トイレがきれい、犬のフンを持ち帰るなど利用者がマナーを守る |                    |
| 10 特になし                               |                    |
| 11 その他（                               | ）                  |

問25 市内の公園には設置後40年以上経過した公園もあり、公園の改修工事が必要です。あなたは、公園の改修の方法としてどのような方法が良いと思いますか。

次の中からあてはまる番号を2つ選んで○をつけてください。

- |  |   |
|--|---|
| 1 規模の大きい拠点となる公園を優先的に改修する               |   |
| 2 規模の大小にかかわらず、古いものから改修する               |   |
| 3 既存の公園の改修ではなく、新たな公園整備を優先する            |   |
| 4 市内の公園分布状況に差がないように、公園の足りない区域を優先して整備する |   |
| 5 地域の公園分布状況に応じて、公園の統廃合を検討する            |   |
| 6 その他（                                 | ） |

問26 新たな公園をつくる場合、どのような公園ができればよいと思いますか。  
次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 草木や花木によって季節が感じられる公園
- 2 子どもが安心して遊べる公園
- 3 バリアフリーに配慮した誰もが憩える公園
- 4 防災機能を備えた公園
- 5 カフェなどの商業施設がある公園
- 6 健康遊具の設置やジョギングコースを設定した健康づくりができる公園
- 7 バーベキュー、キャンプ、クラフト製作などの野外活動ができる公園
- 8 昆虫や鳥類が生息できるように配慮した公園
- 9 その他 ( )

問27 市内の公園の樹木は、適切に管理が行われないと樹木の巨木化、密集化が進み、落葉や落枝の増加、見通しが悪くなることがあります。今後の公園の樹木の管理方法として、あなたはどのような方法が良いと思いますか。  
次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 樹木の量は減らさずに、適正な剪定により管理する
- 2 公園外周部の高木や密集した樹木は伐採し、公園の樹木の量を減らす
- 3 巨木化した樹木は植替えて、公園の樹木の更新を進める
- 4 公園の利用目的に応じて樹木管理計画をつくり、公園樹木を管理する
- 5 その他 ( )

問28 現在、市が管理をする公園・緑地等の維持管理は行政が中心に行っています。今後の公園の管理方法としてはどのような方法が良いと思いますか。  
次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 今までのように、行政が主体となって管理をする
- 2 指定管理者制度等により、民間事業者が管理をする
- 3 市民と行政が協働で、市民参加型の管理をする
- 4 その他 ( )

※指定管理者制度とは、住民サービスの向上や経費の節減等を目的として、公共施設の管理に民間の能力を活用する制度で、市では総合体育館やさくらホール等の管理を指定管理者が行っています。

問29 市が管理する公園・緑地等では、ボランティアによる花壇等の整備が行われています。あなたは、公園・緑地等のボランティア活動に参加したいと思いますか。  
次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 すでにボランティア活動を行っている
- 2 機会があれば参加したい
- 3 参加したいが時間がない、体力的にできない
- 4 参加したくはない、興味がない
- 5 その他（ )

**狭山丘陵、街路樹についておたずねします。**

問30 武蔵村山市の重要なみどりである狭山丘陵は、都立野山北・六道山公園、都立中藤公園、市立野山北公園、カタクリの湯、多摩湖、狭山湖などがあります。あなたは狭山丘陵（市外を含む）を利用したことがありますか。  
次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 毎年利用している
  - 2 不定期だが利用している
  - 3 利用したことがある
  - 4 一度も利用したことがない
- } 問31へ

問31 問30で「1 毎年利用している」または「2 不定期だが利用している」とお答えの方におたずねします。あなたが狭山丘陵（市外を含む）を利用する目的はなんですか。  
次の中からあてはまる番号を全て選んで○をつけてください。

- 1 ハイキング、トレッキング、ランニング、サイクリングなどを楽しむ
- 2 アスレチック遊具などで遊ぶ
- 3 イベントに参加する
- 4 ボランティア活動に参加する
- 5 カタクリの湯に行く
- 6 写真撮影やスケッチをする
- 7 狭山丘陵で生物観察をする
- 8 その他（ )

問3 2 道路の緑化について、あなたはどのように緑化された道路が増えてほしいと思いますか。次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 サクラやケヤキなど地域のシンボルとなる街路樹のある道路
- 2 ハナミズキなどの生長が遅く大木になりにくい街路樹のある道路
- 3 単一の樹種による街路樹ではなく、複数の樹種を組合せた街路樹のある道路
- 4 ツツジなどの低木だけによる植栽のある道路
- 5 道路の利用上安全であれば街路樹は必要ない
- 6 その他 ( )

問3 3 近年、台風等の強風による街路樹の倒木が問題となっています。市内の大木化、老木化した街路樹は、どのような管理方法が良いと思いますか。次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 定期的な健全度調査や適正な剪定を実施し、現在の街路樹を維持管理する
- 2 大木化、老木化した街路樹は、現在の街路樹と同じ樹種で植え替える
- 3 大木化、老木化した街路樹は、大きくなりにくい樹種や低木に植え替える
- 4 大木化、老木化した街路樹は伐採し、街路樹はなくした方がよい
- 5 その他 ( )

### 「みどり」に関する市の取組についておたずねします。

問3 4 武蔵村山市では民有地の「みどり」を保全するために、一定の規模以上の樹木、樹林、生け垣について、保存樹木等に指定し、その所有者等に奨励金を交付しています。あなたは、この制度を知っていましたか。次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

保存樹木の指定基準 : 高さ約10m以上、幹周り約1.5m以上

保存樹林の指定基準 : 市街化区域内で面積約500㎡以上

保存生け垣の指定基準 : 高さ約1m以上、延長約7m以上

- 1 知っていた + 利用している
- 2 知っていた + 該当する樹木等がないため利用していない
- 3 知っていた + 該当する樹木等はあるが利用していない
- 4 知らなかった + 利用したいと思う
- 5 知らなかった + 該当する樹木等がないため利用する予定はない
- 6 知らなかった + 該当する樹木等はあるが利用する予定はない

問35 保存樹木等の奨励金制度について、次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 1 樹木や樹林を保全するために、現状の制度を継続すべきである     |  |
| 2 指定基準を緩和し、より多くの樹木や樹林等を指定し保全すべきである |  |
| 3 所有者の責任で保全し、奨励金の交付は必要ない           |  |
| 4 その他( )                           |  |

問36 市内には個人や事業者等が所有する樹林地があります。このような民有地の樹林地を保全するための支援活動について、あなたはどのように考えますか。  
次の中からあてはまる番号を全て選んで○をつけてください。

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 1 市と所有者が協定を結び、市が管理をするとともに、樹林地を公開する    |  |
| 2 市と所有者が協定を結び、管理は市民ボランティアが行い、樹林地を公開する |  |
| 3 市が樹林地を紹介するなど、樹林地の魅力をPRする            |  |
| 4 所有者の意向に任せ、行政や市民があまり関与すべきではない        |  |
| 5 その他( )                              |  |

## 自由意見

武蔵村山市の「みどり」や公園・緑地について、ご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。


以上でアンケートは終了です。このアンケート票を同封の返信用封筒にて、返送をお願いいたします。  
ご協力いただきありがとうございました。

武蔵村山市第三次みどりの基本計画策定  
アンケート調査報告書

発行年月／令和4年（2022年）3月

発行／武蔵村山市

編集／武蔵村山市協働推進部環境課

〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目1番地の1

TEL 042-565-1111（代表）